

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1990年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 13(2)
Issue Date	1992-01-30
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9239
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1990年－

月日	国名	記 事
1. 5	パ ナ マ	政府、同国エンダラ新政権を承認。(NK, AH, AE)
1. 9	メ キ シ コ	メキシコ国営石油会社 (P E M E X)、89年12月積み同国産石油の日本向け価格を1バレル、1.03ドル引き上げ。(NK)
1. 10	メ キ シ コ	同国政府、日米欧の民間銀行団と、約70億ドルの債務棒引きを含む債務救済策で最終合意。(NK)
1. 16	コ ロ ン ビ ア	警視庁保安2課と新宿署、コカインの不法所持でコロンビア人3人を逮捕、コカイン約1キロ(末端価格7200万円相当)を押収。(NE, AE)
1. 18	ブ ラ ジ ル	富士写真フィルムの大西実社長、同国政府より「南十字勲章」を受章。(NS)
1. 20	パ ナ マ	日、米、パナマ3国の共同プロジェクトである第2パナマ運河構想に関し、エンダラ新政権発足を契機に「パナマ運河代替案調査委員会」が2年ぶりに活動を再開。(NE)
1. 26	パ ナ マ	外務省、同国への渡航自粛勧告を解除。(NK)
1. 26	メ キ シ コ	メキシコ日産のまとめによると、89年の同国自動車市場で日産車が3年連続で販売台数1位。(NS)
1. 27	ブ ラ ジ ル	日商岩井、海底油田向け石油生産基地建設資金1億8000万ドルを同国に融資することを明らかに。(NK, AH)
1. 28	ブ ラ ジ ル	コロール次期大統領来日。29日、海部首相と会談し、同国への投資促進と経済・技術協力の促進を要請。同日、橋本蔵相と会談、IMFとの関係改善の意向を表明。30日、天皇・皇后両陛下と懇談。(NK, NE, AE)
2. 2	パ ナ マ	日、米、パナマの3国政府で構成する「パナマ運河代替案調査委員会」、日米パ企業で構成する企業連合体と、調査用運河の将来のあ

		り方を検討するための調査契約を締結。(NK)
2. 2	ベネズエラ	神戸製鉄所、同国ガイアナ開発公社から受注して進めていた流動床型直接還元製鉄プラントの改造工事が完了、稼働を始めたと発表。(NS, NK)
2. 2	メキシコ	三井物産、日立製作所や米GEなどと共同で、メキシコ国営製鉄所から熱延設備改造工事を受注。世界銀行の融資によるもの。(AH, NS, NK)
2. 4	メキシコ	同国政府と債務銀行団諮問委員会がプレイディ提案に基づく対外債務救済策に調印。この調印で、同国に債権を持つ邦銀29行は今3月期決算で総額60億ドル程度の償却を計上する見通し。(NE, AH)
2. 5	ブラジル	ソニー、3月から同国でのカラーテレビの生産に乗り出す。(NS)
2. 6	ブラジル	邦銀各行、今3月期決算で同国向け貸出債権の利息収入を計上しない方針を決定。(NK)
2. 6	メキシコ	大蔵省、同国政府と日米欧民間銀行団が債務救済策に関して正式調印したのを受け、3月下旬に最大で額面350億円の超長期割引国債を発行する。(NK)
2. 6	エクアドル	栗木鉄工所、伊藤忠商事と共同で、エクアドル電力会社から、アマゾン支流・パウテ川のダムプラントを受注。(NS)
2. 8	ペルー	警視庁保安2課と新宿署、横浜港でペルー船籍の貨物船「ガルシラーソ号」を麻薬取締法違反などの疑いで捜索、ペルー人船員1人を逮捕。(NE, AE)
2. 13	コロンビア・ペルー	警視庁保安2課と新宿署、横浜市内の倉庫からコカイン23.7キロ(末端価格17億円相当、史上最高)を押収。(NE)
2. 14	ボリビア	成田税関と千葉県警、成田空港でコカイン2.16キロ(末端価格約1億5000万円)を密輸入しようとしたボリビア人を逮捕。(NK, AH, AE)
2. 16	ベネズエラ	日本輸出入銀行、ベネズエラ電信電話公社に総額1億4770万ドル相当の円を限度とする円建てアンタイドローンを供与する貸付契約に調印。(NK)
2. 20	英領ケイマン	東京生命、同島に投資現地法人を設立。(NK)
2. 20	パナマ	警察庁、昭和天皇在位記念金貨偽造事件で、その流通ルートとして浮上しているパナマとアラブ首長国連邦に捜査協力を依頼している

		ことを明らかに。(NK)
3. 1	ウルグアイ	政府、ラカジェ大統領の就任式に、熊谷太三郎参議院議員を特派大使として派遣。(AE)
3. 2	アンデス諸国	(-4. 1)横浜で「大アンデス展」開催。(AH)
3. 3	コロンビア	科学技術庁、ネバド・デル・ルイス山の噴火予知観測を支援するため、6月から専門家を派遣し観測器を寄贈することを決定。(AE)
3. 4	アルゼンチン	創価学会インターナショナルの池田大作会長、同国政府より「大十字五月勲章」を受章。(AH)
3. 5	チリ	日本輸出入銀行、同国に対する総額約1億5000万ドルを限度とするアンタイドローンの貸付契約を締結。(NK)
3. 5	ブラジル	三菱工業セメント、同国大手セメントメーカー・パライソセメントに製造技術・ノウハウを供与、生産能力増強に伴い、プラントの設計や操業指導などを受注する。(NK)
3. 6	メキシコ	英国「インディペンデント」紙、メキシコでウミガメが大量に密漁させ、その皮が日本に輸入されていると報じる。(MN)
3. 7	ニカラグア	外務省、日米首脳会議での中南米支援強化の合意を受けて同国への経済援助の立案に入る。(NK)
3. 9	ニカラグア	中山外相、セサル次期大統領顧問と会談、同国新政権への経済支援を約束、そのための経済調査団を早急に派遣する意向を表明。(NK, AH, MN)
3. 10	チリ	政府、エイルウィン大統領の就任式に、遠藤要参議院議員を特派大使として派遣。(AE)
3. 12	アルゼンチン	同国国営企業の民営化支援のための投資会社A P D T Cの設立計画に、邦銀3行を含む日米欧の有力銀行16行の参加が決定。(NK)
3. 15	ブラジル	竹下元首相、コロール新大統領の就任式に出席。16日、同大統領と会談、凍結状態にあった同国向け輸出保険の適用を再開する政府方針を伝える。(NK, NE, AH, AE)
3. 15	ウルグアイ	竹下元首相、訪問先のブラジルでラ・カジェ大統領と会談。(NK)
3. 17	ブラジル	ブラジル訪問中の竹下元首相、サンパウロで、11月の即位の礼に合わせブラジル日系人250人を日本に招待する計画を発表。(NK, AH)
3. 22	メキシコ	全国銀行協会連合会の宮崎会長、ブレイディ提案による同国の累積

		債務救済策に伴う損失は、都銀全体の90年3月期経常利益ベースで3600億円にのぼるとの見通しを表明。(NK)
3. 25	ニカラグア	政府、国連ニカラグア選挙監視団の要因として6人を派遣。(AH)
3. 27	ニカラグア	政府、チャモロ政権への経済援助の第一弾として、食糧増産援助3億円の供与を決定。(AH, ME)
3. 30	メキシコ	大蔵省、同国の累積債務圧縮に協力するため、日本として初の30年物の割引き国債(額面366億円弱)を発行。(NK)
3. 31	ブラジル	通産省、発展途上国からの輸入を拡大し累積債務問題の解決にも役立てるため、前払い輸入保険の引き受け基準を緩和する。その適用第1号は、ブラジルからのフラブ(鉄鋼用半製品)輸入に対するもの。(NK)
4. 4	中南米	外務省などの推計によると、現在中南米からの出稼ぎ者の数は、ブラジルからが約3万人と最も多く、ペルーやアルゼンチンから5000~6000人。出稼ぎ者はさらに急増中。(NK)
4. 5	中南米	邦銀5行と生命保険12社、米州開発銀行向け円建てシンジケートローン(協調融資)として300億円を出資。(NK)
4. 5	ブラジル	90年度積みブラジル産鉄鉱石の輸入価格、前年度比16%の大幅値上げ。(NK)
4. 7	メキシコ	三菱商事など3社、メキシコ電力庁(CFE)から能力35万キロワットの火力発電設備2基を受注。日本輸出入銀行が大型ローンを供与する見通し。(NK)
4. 11	ブラジル	ポッカコーポレーションの谷田利景社長、同国政府より「リオ・ブランコ勲章」を受章。(NS, NK)
4. 18	メキシコ	関税貿易一般協定(ガット)の多角的貿易交渉(ウルグアイ・ラウンド)出席のため訪墨中の中山外相、サリナス大統領を表敬訪問。(NK)
4. 18	キューバ	日本共産党の招請で来日中のキューバ共産党代表団の随行員、羽田空港で短銃・実弾所持で逮捕。(NK)
4. 19	キューバ	東京地検、短銃所持で逮捕された来日中のキューバ共産党代表団の随行員を処分保留で釈放、身柄は在日キューバ大使館に引き渡し。(NK)

4. 22	アルゼンチン	アルゼンチン海軍、同国沿岸警備隊が領海内でイカを取っていた日本の漁船2隻を拿捕したと発表。(AE, ME)
4. 23	中南米	法務省調査の結果、南米出身の日系就労者の労働時間や収入は日本人並み。(NK)
4. 24	メキシコ	東京銀行、国立メキシコ開発銀行と、日本企業進出を後押しするための投資協定を締結。(NK)
4. 25	ニカラグア	政府、チャモロ新大統領就任式に、唐沢俊二郎前自民党総務会長を特使として派遣。(NE, AE, ME)
4. 26	ブラジル	川崎製鉄の八木靖浩社長、同国より「カイル子爵賞」受賞。(NS)
4. 27	中南米	米国政府、日米欧が共同で中米・カリブ諸国を支援する「中米・カリブ支援構想」を発表。(NE)
4. 27	中米	日本輸出入銀行、中米経済統合銀行に対して総額90億円のパンクローンを供与する契約に調印。(NK)
4. 30	メキシコ	訪米中の武藤通産相、新債務戦略のフォローアップとしてメキシコに対し貿易保険を活用したニューマネー(約3億ドル)を提供する方針をベーカー国務長官との会談で公表。(NK, YU, ME)
5. 1	類フォークランド (マルビナス)	KDD、同島との国際ダイヤル通話サービスを開始。(NS)
5. 2	類フォークランド (マルビナス)	同国政府、日本のイカ漁船団に対し、同国水域での閉漁時間を早め5月上旬で打ち切るよう要請。10日、同漁船団は同国沖150マイル内でのイカ漁を打ち切り。(NK)
5. 8	南米	日本輸出縫製品工業協同組合連合会、人手不足対策として南米日系人の雇用を検討することを決定。(NK, AH)
5. 8	メキシコ	メキシコ国営石油会社(P E M E X)、4月積みの対日輸出価格引き下げを決定、値下げ幅は3月積みに比べ1.51ドル。引き下げはこれで3か月連続。(NK)
5. 8	ポリビア	訪米中のバス・サモラ大統領、ブッシュ米大統領との会見の中で、投資や麻薬撲滅への日本からの支援拡大への期待を表明。(NE)
5. 8	パナマ・ ニカラグア	政府、経済協力調査団を両国に派遣。(NK, YU)
5. 8	コスタリカ	政府、カルデロン大統領の就任式に、森喜郎元文相を特派大使とし

		て派遣。(AE)
5. 9	エクアドル	中山外相、コルドベス外相と会談。同日外務省は債務の返済繰り延べ、円借款などを柱とする同国への経済支援策を発表。(MN, AE, NE)
5. 16	コロンビア	警視庁と東京・横浜両税関、横浜港に入港した貨物船から史上最高の約42キロ(末端価格約30億円)のコカインを押収、運び屋のコロンビア人船員1人を逮捕。(NE, AE, YE, ME)
5. 17	コロンビア	トヨタ自動車と三井物産、仏大手自動車メーカー・ルノー公団のコロンビア現地生産会社・ソファサ社に資本参加し、合弁生産の契約を締結。(NK, NS)
5. 18	トリニダード トバゴ	日本輸出入銀行、同国に対する総額4000万ドル相当の円建てアンタイドローンを供与する貸付契約に調印。(NK)
5. 22	ブラジル	同国政府、赤字国営企業の民営化にあたって民営化証券を金融機関に強制的に割り当てる方針を決定。対象となる邦銀は基本的に了承する意向を表明。(NE)
5. 26	ブラジル	石川島播磨重工の稲葉興作社長、「南十字勲章」を受章。(YE)
5. 27	メキシコ	三井物産、メキシコ石油公社(P E M E X)と、同国北部での石油化学工場建設の企業化調査に乗り出すことで合意。(NK)
6. 1	メキシコ	協和発酵と住友商事、同国政府との共同出資による飼料添加物生産会社フェルメックス社の同国政府持ち株を買い取る。(NS, NK)
6. 2	キューバ	日本企業所有の大型ヨット、同国沖約23キロを航行中、同国警備隊から砲撃・連行される。7日に解放。(NK, AH, MN)
6. 4	チリ	三菱製紙と三菱商事、6月末をメドに同国に植林会社を設立すると発表。(NS, NK, AH, YU)
6. 4	コロンビア	同国の麻薬組織から警視庁などに、海部首相を「処刑」するなどの脅迫状が届いていることが明らかに。(MN, AH)
6. 8	ブラジル	(-10) サンパウロで大相撲ブラジル公演。(YE, AE)
6. 10	ペルー	大統領選で、日系のアルベルト・フジモリ氏当選。(NE, AE, YE, ME)
6. 15	エクアドル	外務省人事。駐エクアドル大使に板橋毅一駐ホンジュラス大使を起用。(NE, AE, YE)
6. 15	ブラジル	三井物産とブラジル最大の果汁メーカー、シトロスーコ・パウリスタ社、共同で今秋にも日本とアジア地域でオレンジ果汁の販売に乗

		り出す。(NK)
6. 16	メ キ シ コ	(-20) サリナス大統領、来日。(NK, AH, YU)
6. 18	メ キ シ コ	サリナス大統領、天皇・皇后両陛下と会見。(NK, AE, ME)
6. 18	メ キ シ コ	日墨首脳会談。海部首相、メキシコ首都圏の大気汚染防止対策などに対し同国へ総額約1210億円の供与を行うことを表明。また両国の一層の関係強化のための「日墨21世紀委員会」の設置で合意。(NK, AH, YU)
6. 19	メ キ シ コ	武藤通産相、サリナス大統領に対し、貿易保険を活用した新たな資金還流措置の実施を表明。(NK, AH)
6. 19	メ キ シ コ	サリナス大統領、日本記者クラブで記者会見し、来日期間中に日本から30件以上の新たな投資案件が成約できたこと、電子・自動車部品関係の日本企業の進出を望むこと、日本からの資金調達を積極化する考えなどを表明。(NK)
6. 20	メ キ シ コ	バイオリニスト黒沼ユリ子さんがメキシコ市に設立したアカデミア・ユリコ・クロヌマ創立10周年を記念した日本・メキシコ友好コンサート、東京で開催。(NE, AE)
6. 20	ベ ネ ズ エ ラ	三菱商事、債務の株式化(デット・エクイティ・スワップ)の手法を利用して、同国最大のセメント会社、ベンセモス・ペルティガレ社に60億円出資し、経営を支援する。(NK)
6. 21	ペ ル ー	海部首相、アルバラド下院議長と会談。(NE, YU)
6. 21	ベ ネ ズ エ ラ	三菱商事、英蘭系シェル、米エクソンと共同で、同国との合併による液化天然ガス(LNG)開発事業に参加すると発表。(NK, AH, YU)
6. 27	ニ カ ラ グ ア	政府、同国に対する幼児栄養改善計画、低所得者住宅、建設計画など総額約12億円の無償資金協力を決め、書簡を交換。(NK)
6. 28	ベ ネ ズ エ ラ	日米欧などの民間銀行団と同国政府、プレイディ構想に基づく債務救済策の細目で最終合意。(NE)
7. 1	ペ ル ー	(-5)フジモリ次期大統領来日。2日、天皇陛下と会見、海部首相と会談。3日、武藤通産省と会談。4日、両親の故郷の熊本県河内町を訪問。(NK, NE, YU, YE, MN, AH, AE)
7. 2	メ キ シ コ	山口輪銀総裁、同国のガソリン無鉛化プロジェクトに3億1500万ドルのアンタイドローンを供与することを明らかに。(NK)

7. 3	ペ ル ー	自民党の小沢幹事長、総務会で、党として同国の経済再建に協力していく方針を表明。(NE)
7. 6	アルゼンチン	日米欧の民間銀行債権団に対し同国が26か月ぶりに利払い(総額4000万ドル)を行う。(YE)
7. 6	中 南 米	武藤通産相、9日からのヒューストン・サミットを前に、中南米の民主化を積極的に支援する意向を表明。(NE)
7. 9	中 南 米	伊藤忠商事、社内組織「地球環境室」を設置したと発表。世界各国の環境機関に資金援助するほか、ブラジル、チリで植林事業に協力する。(NK)
7. 13	パナマ・ ニカラグア	通産省、88年以降停止していた短期貿易保険の引き受け再開や緊急商品借款の供与などを柱とする両国への経済再建支援策を固める。(NK, YU)
7. 17	パ ラ グ ア イ	外務省人事。駐パラグアイ大使に丸山俊二駐サンパウロ総領事を起用。(NE, YE)
7. 17	ベ ネ ズ エ ラ	来日中のティノコ中央銀行総裁とロドリゲス企画相、債権者である邦銀対象の説明会を開く。しかし各行とも新規融資には慎重な姿勢。(NK)
7. 17	ニ カ ラ グ ア	米司法当局、駐日ニカラグア大使館の元参事官がヘロイン密輸事件に関わっていたとして日本に仮拘禁請求。これを受けて東京地検は18日、元参事官の身柄を拘束。(NK, YU, MN)
7. 18	南 米	(-8.3)土屋参院議長、南米5カ国を訪問。アルゼンチン上院議長の招請によるもの。(NK)
7. 19	ジャマイカ	政府、同国に対する総額36億1700万円の円借款の供与を決め、キングストンで書簡を交換。(MN)
7. 19	中 南 米	マルフォード米財務次官、下院外交委員会にて、ブッシュ米大統領の中南米支援構想の中の投資自由化基金に日本が参加するとの見通しを表明。(NE)
7. 19	メ キ シ コ	(-26)相沢経済企画庁長官、メキシコ・米国訪問。メキシコでは日墨経済専門家会議に出席。(NK, YU)
7. 19	ニ カ ラ グ ア	ウエソ駐日大使、記者会見し、ヘロイン密輸入容疑に問われている駐日ニカラグア前参事官の身の潔白を訴える。(NK, AE)

7. 22	ペ ル ー	政府、干ばつで被害を受けている同国に対し400万ドルの緊急援助を決定。(AE)
7. 23	アルゼンチン・ チリ	パタゴニア氷河をこの秋、日本・アルゼンチン・チリの3国共同学術調査隊が調査を行う。温暖化の影響などを探るのが狙い。(NK)
7. 28	ペ ル ー	粕屋茂元北海道沖繩開発庁長官、フジモリ新大統領の就任式に政府特使として出席。(NE, AH, YU)
8. 1	中 南 米	明和産業、ベトナムの米を中南米などに輸出する3国間貿易に乗り出す。(NK)
8. 2	南 米	日野自動車といすゞ自動車、人手不足に対応するため、南米で日系人の採用に乗り出す。(NK)
8. 6	ベネズエラ	日商岩井と三菱自動車工業、同国で乗用車と小型トラックの組み立て生産を始めると発表。(NK, NS, AH)
8. 6	中 南 米	労働省、日系2、3世専用の職業相談窓口を設置する方針を決定。(YU)
8. 7	コロンビア	政府、ガビリア大統領の就任式に、中島源太郎元文相を特派大使として派遣。(AE)
8. 9	メキシコ	メキシコ国営石油会社(P E M E X)、中東情勢緊迫化に対応して同国が約束した日量10万バレルの原油増産分を、米国だけでなく日本、スペインにも振り分ける意向を表明。(NE, AH)
8. 10	コロンビア	東京税関と千葉県警、コカイン約1.5キロ(末端価格約1億円相当)を密輸しようとしたコロンビア人を逮捕、送検。(NK, AH)
8. 11	ベネズエラ	邦銀各行、累積債務を抱える同国の救済にあたり、新規融資はしない方針を固める。(NK)
8. 11	中 南 米	日本輸出縫製品工業協同組合連合会の「南米日系人雇用ミッション」ブラジル、ペルーに向け出発。(NS)
8. 13	ブラジル	半導体素子メーカーのシンコー電気、同国に工場完成。超精密金型を生産する。(NS)
8. 15	ベネズエラ	都市銀行など各行、同国の累積債務問題について自行の採用する救済策をそれぞれ通告。(NK)
8. 15	コスタリカ・ ペルー	日本プラント協会、両国を含む発展途上国6カ国に経済・産業情報を収集する調査団を派遣。(NS)

8. 16	ドミニカ共和国	石井外務政務次官、バラゲル新大統領の就任式に政府特使として出席。(NE)
8. 17	チリ	住友商事、チリCAP社と提携、合板などの代替商品となる廃材を利用した中比重繊維板(MDF)を合弁生産する。(NK)
8. 18	コスタリカ	駐コスタリカ野村忠策大使、練習飛行中の空中接触事故で墜落死。(YU, MN)
8. 20	アルゼンチン	鈴木自動車工業と日商岩井、同国向けの自動車輸出を開始。(NS)
8. 27	キューバ	犯罪防止および犯罪者の処遇に関する国際連合会議(於ハバナ)に、根岸重治東京高検検事長ら20人が出席。(NK, NE)
8. 28	ニカラグア	東京地検、米国から身柄引き渡し要求のあった駐日ニカラグア大使館の元参事官について、引き渡しが可能かの審査を東京高裁に求める手続きを取る。(NK)
8. 28	中南米	麻薬組織の資金がスイス国内を中心に複数の日系金融機関の口座に預けられていたことが判明。スイス当局はすでに17億円を凍結。大蔵省はチェック体制点検を金融機関に呼び掛けると表明。(NE)
8. 29	ペルー	東大古代アンデス文明調査団、89年アンデス山中クントゥル・ワシ遺跡(推定紀元前1000-1500年)から発見された「黄金の冠」などを日本に運び、研究・修復後展示する計画である旨発表。(NK, YE)
8. 30	チリ	兼松、植林から製材まで一連の木材産業を手がける森林投資会社「KGインベシオネス」を同国に設立。(NK)
9. 2	コロンビア・ パナマ	コロンビアの麻薬組織の資金がスイスなどの日系金融機関の口座に預けられていた問題で、第一勧銀と三菱銀行の凍結資金にパナマの銀行からの送金があることが判明。(NK)
9. 3	コロンビア	コロンビアの麻薬組織の資金が日系金融機関の口座に預けられていた問題で、第一勧銀のスイス現地法人に対して、大手スイス銀行の東京支店への送金依頼が行われていたことが判明。(NE, AH, MN)
9. 4	ペルー	自民党、同国にトラック120台を寄贈することを決定。(NE, YU)
9. 4	メキシコ	外務省人事。駐メキシコ大使に田中常雄駐フィリピン大使を起用。(NE, AE, YE)
9. 4	メキシコ	メキシコ国営石油会社(PEMEX)、8月積みの直接取引原油対日輸出価格を10.37ドル引き上げると通告。(NE)

9. 6	ボ リ ビ ア	千葉県警と東京税関、同国の国際麻薬組織によるコカインの大量密輸・密売事件で9人を逮捕し、密輸資金ルートを解明。(NK, YU, ME)
9. 6	メ キ シ コ	日本通運、米国・メキシコ間の貨物輸送強化のため、同月メキシコに現地法人を設立する。(NK, NS)
9. 7	コ ロ ン ビ ア	神戸地裁、89年7月密輸の罪に問われたコロンビア人に対し、懲役6年、罰金25万円の判決。(NE, AE)
9. 9	キ ュ ー バ	同国の対日輸入代金の未払い総額が1500億円に達し、今年に入ってその金利支払いも停止していることが明らかに。(NK)
9. 9	ペ ル ー	東京・三軒茶屋で「ペルー展」。ペルーの「天野博物館」の財政危機救援を目的としたもの。(NE)
9. 10	メ キ シ コ	日本輸出入銀行と民間銀行9行、メキシコ産業金融公社に対する総額518億円の融資を決め、貸付契約に調印。(NK, AH)
9. 12	ブ ラ ジ ル	横河電気の横河正三会長、同国政府より「南十字勲章」を受章。(NK, NS)
9. 12	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、原油の供給量を180万バレル増やす用意があると表明。(NK)
9. 14	コ ロ ン ビ ア	同国北部ツルボ港沖で、日本船「アトランティック・スター号」からコカイン550キロが押収される。(NE, AE, YE, ME)
9. 17	キ ュ ー バ	表面処理機器メーカーの村上産業、同国国営企業・エムコに、パソコン用プリント基板のメッキプラントを輸出、稼働。(NS)
9. 18	ペ ル ー	外務省、同国支援のため初の経済協力調査団を派遣。(NK)
9. 18	ホンデュラス	外務省人事。駐ホンデュラス大使に宮崎孝駐マルセイユ総領事を起用。(NK)
9. 19	コ ロ ン ビ ア	コカインが押収された日本船「アトランティック・スター号」の船員は全員無罪の判決を受け、同船は出航。(NE, AE)
9. 19	コ ロ ン ビ ア	同国産切り花専門の輸入商社「コロンビア・フラワープロモーション」が設立され、サンプル輸入を開始。(NE)
9. 21	中 南 米	橋本蔵相、7カ国蔵相会議(G7)に先立ちブレイディ米財務長官と会談、中南米諸国への金融支援に対する前向きな検討を約束。(NE)
9. 22	メ キ シ コ	富士通、メキシコ電話公社から大容量光伝達システムを受注。(NK)

9. 24	中 南 米	東京・晴海で「ラテンアメリカ・フェスティバル」開催。(MN, AE)
9. 28	中 米	(-30) 東京・国連大学などで「日本・中米国際セミナー」開催。 (AE)
9. 28	中 南 米	第2パナマ運河などの国際的大規模プロジェクトを推進する財団法人「日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団」が正式に発足。(NS)
10. 4	ペ ル ー	政府、ペルー政府との間で、2件の無償資金協力(総額7億4000万円)に関する書簡を交換。(ME)
10. 4	メ キ シ コ	(-16) 東京で「マヤ文明展」開催。(ME)
10. 5	メ キ シ コ	メキシコ国営石油会社(P E M E X)、9月積み対日輸出原油の値上げを通告。(YU)
10. 6	ブ ラ ジ ル	日本・ブラジル合弁のアルミナ生産に関するナショナル・プロジェクト「アルノルテ計画」が再開に向けて始動。(NK)
10. 11	ベ ネ ズ エ ラ	北海道電力、11月より同国産オイルサンドの調査に乗り出す。(NS)
10. 12	コ ス タ リ カ	工業技術院製品科学研究所、来年より、コスタリカ国立大学と共同で、コーヒー豆の殻からポリウレタンを作る技術開発に取り組む。 (NS)
10. 13	中 南 米	(-19) 東京で「新ラテンアメリカ映画祭90」開催。映画祭に合わせてガルシア・マルケスらラテンアメリカ映画の関係者も来日。(NK, AE, YE)
10. 15	ニ カ ラ グ ア	東京高裁、ヘロイン密輸容疑の元駐日ニカラグア大使館参事官の米国への引き渡しを決定。(YU)
10. 16	メ キ シ コ	(-17) 日墨両政府、メキシコ市にて航空協議。両国間路線の増便問題について話し合う。(NK)
10. 17	メ キ シ コ	政府、同国への総額750億円の円借款供与を決定。(NK)
10. 17	メ キ シ コ	N T T、完全民営化する同国の電話会社テレフォノス・デ・メヒコに数百万ドル程度の出資をする方針を固める。(NK, AH)
10. 25	ペ ル ー	日米の民間銀行、同国に対して債務の元利返済を求めてニューヨークの連邦裁判所に起こしていた訴訟を一次停止、91年3月までに同国と協議を始めることで合意。(NE)
10. 29	ブ ラ ジ ル	通産省、同国政府と、リスケジュール済みの貿易保険関連の債務回

		収交渉に入る。(NK)
10. 29	メキシコ	通産省、貿易保険を活用して累積債務国に民間資金を還流する新しい公式信用供与を同国に適用、3億5000万ドルを供与する契約が成立したと発表。(NK)
10. 30	ハイチ	政府、12月に予定されている同国総選挙に際し、国連選挙監視団に外務省職員2人を派遣する方針を固める。(AH)
11. 5	コロンビア	警視庁、コカインをコインロッカーに隠し持っていたコロンビア人を逮捕、コカイン2.51キロ(末端価格1億4350万円相当)を押収。 (NK, AH, YU)
11. 6	メキシコ	メキシコ国営石油会社(P E M E X)、10月積みの直接取引原油対日輸出価格の引き上げを通告。(NK)
11. 9	メキシコ	N T T、同国の電話会社テレフォノス・デ・メヒコへの出資を断念。 (NK)
11. 12	中南米	即位の礼に中南米各国の代表参列。
11. 12	ブラジル	来日中のコロール大統領、武藤通産相と会談、同国の対日債務解消に向け両国政府間で協議することで合意。14日、経団連の斎藤英四朗会長と会談し支援要請。(YU)
11. 13	メキシコ	政府、同国の対外債務約1100億円の債務繰延べに合意。(NE, YE)
11. 13	コロンビア	同国と日米欧民間銀行団、債務再編で合意したことが明らかに。 (NE, AH)
11. 13	ハイチ	中山外相、ラトルチュー外務宗教相と会談、12月16日予定の同国総選挙に国連を通じて選挙監視委員を派遣する考えを表明。(NK, AH, MN)
11. 13	アルゼンチン	来日中のメネム大統領、山口輪銀総裁と会談、同国の経済再建のため300億円の融資を要請。(NK)
11. 14	ブラジル	日米欧の民間銀行団が同国に対して返済の止まっている利払いの一部をブラジル国債で代替することを認める新提案をしていたことが明らかに。(NK)
11. 21	ブラジル	日商岩井、同国国営開発会社のリオ・ドセ社などと合併で、アマゾン下流域で大規模な植林・パルプ生産事業に乗り出す。(NK, AH)
11. 22	グアテマラ	日本たばこ産業(J T)、91年2月から同国に調査団を派遣する。

		同社が展開する文化事業「JTカルチャーコロンブス92」の第一弾。 (NS)
11. 22	キューバ	国際宅配大手のディーエイチエル・ジャパン、日本・キューバ間の 輸送事業を開始。(NS)
11. 24	ペルー	同国アウトパウレリで邦人男性が極左ゲリラ「センドロ・ルミノソ」 に銃殺される。(YU, AH, NK)
11. 23	ベネズエラ	三菱商事、米レイノルズ・メタル社と、同国でのアルミ精練の事業 化調査に乗り出す。(NE)
11. 26	メキシコ	(-12. 7)日本貿易協会(JETRO)、「訪メキシコ経済交流ミッ ション」を派遣。(NS)
11. 29	ドミニカ共和国	広島が同国サンペドロ・デ・マリスコス市に建設していた野球学校 「広島東洋カープ・アカデミー・オブ・ベースボール」開校。(YU)
12. 4	メキシコ	メキシコ国営石油会社(PEMEEX)、11月積みの対日直接取引原 油価格の引き下げを通告。(NK)
12. 7	ベネズエラ	同国と日米欧債務銀行団との債務削減交渉決着にともない、邦銀が 91年3月期決算で処理する損失額は全体で2000億円強に達する見通 し。(NK)
12. 10	ペルー	リマで日本大使館などに対する連続爆弾事件。(MN)
12. 13	メキシコ	日本とメキシコの将来を展望する「日墨21世紀委員会」がメキシコ 市で初会合。(MN)
12. 15	メキシコ	マツダと住友商事、これまで資本参加してきた同国の自動車会社C CAの現地側株主の持ち株を買収、マツダの子会社とすることで合 意。(NK)
12. 25	ベネズエラ	神戸製鋼所と丸紅、同国の鉱山会社CVGフェロミネラ・オリノコ に、製鉄原料となるペレットの製造プラントを納入する。(NS)
12. 27	中南米	警察庁、90年の薬物犯罪の概要を発表。11月末現在コカインの押収 量は64キロで前年比4.7倍の増加。(YU)
12. 28	ペルー	チャベス中央銀行総裁、同国に対し日米欧など9カ国が91年中に総 額25億ドルのつなぎ融資を実施することが決まったことを明らかに。 (NE)
12. 31	アルゼンチン	東京銀行を幹事とする民営化投資会社が、同国政府が民営化のため

に実施した株式売却に約4億ドル投資したことが明らかに。(NK)

(以上196項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌—1991年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 14(2)
Issue Date	1993-03-25
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9256
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1991年－

月日	国名	記事
1. 4	メキシコ	メキシコ国営石油会社（PEMEX）、12月積み対日直接取引（DD）原油価格の引下げを通知。マヤ原油は1バレル19.89ドルに。（NK）
1. 5	ボリビア	警視庁保安2課と目白署、池袋で不動産業者とボリビア国籍の妻を逮捕、拳銃とコカイン約481グラム（末端価格約3400万円）を押収。（NK, YU, MN）
1. 7	中南米	日立家電、中南米諸国でのカラーテレビの組み立て生産を縮小し、東南アジアや日本からの完成品の輸入に切り替える。（NK）
1. 13	グアテマラ	（-21）小淵官房長官、セラノ大統領の就任式出席のため、特派大使として派遣。（MN）
1. 22	トリニダッド トバゴ	外務省人事。駐トリニダッドトバゴ大使に江口暢氏起用。（NE）
1. 22	キューバ	外務省人事。駐キューバ大使に宮本信生氏起用。（NE）
1. 24	エルサルバドル	川崎汽船の熊谷清元社長、同国政府よりホセ・マティアス・デルガード勲章を受章。（AE）
2. 5	メキシコ	同国政府、電信電話会社テルメックスの民営化に際し、野村証券をアジアでのアドバイザーに指名。（NE）
2. 5	中南米	東京都内の報道機関や銀行8社に対し、同日までに「麻薬戦争を開始する」という手紙と白い粉末が郵送される。（YE）
2. 7	メキシコ	メキシコ国営石油会社、1月積み対日直接取引（DD）原油価格の引下げを通知。イスムス原油は1バレル20.68ドル、マヤ原油は16.03ドルに。（NK, ME）
2. 8	ペルー	同国政府、日本など30か国の大使館担当者に対しコレラ発生の現状を報告し緊急支援を要請。（NE）
2. 8	ペルー	上院、フジモリ大統領の義弟で日系2世のビクトル・アリトミ氏を新駐日大使に承認。（YE, ME）
2. 9	中南米	政府、米国の中南米自由化構想に積極的に参加するため、6月までに経済ミッションを派遣する方針を決定。訪問国はニカラグア、パナマ、コスタリカ、グアテマラ、ホンデュラス。（YU）
2. 11	ニカラグア	チャモロ大統領来日。海部首相と会談、海部首相は同国への9億円

		の無償援助を表明。12日天皇皇后両陛下と会見。(NE, AE, ME)
2. 15	コスタリカ	外務省人事。駐コスタリカ大使に小野純男駐グアテマラ大使を起用。(NE, YE, AE, ME)
2. 19	ポリビア	神奈川県警保安課と伊勢佐木、横浜水上両署、ポリビアの麻薬シンジケートを摘発、中国人ら3人を逮捕し、コカイン約5キロ(末端価格3億5000万円)と拳銃を押収。(NE, YU, ME)
2. 26	メキシコ	同国政府、来日した政府ミッションを通じ、日本の製鉄メーカーと大手商社に対し、民営化予定の国営製鉄会社への資本参加を要請。(NK)
2. 26	バルバドス	外務省人事。江口暢氏、兼バルバドス大使。(YE)
2. 27	ペルー	政府、コレラの発生している同国に対し、2200万円相当の緊急援助の追加を決定。(NE)
3. 1	グアテマラ	外務省人事。グアテマラ大使に大島弘輔氏起用。(YE, AE, ME)
3. 1	ペルー	自民党の小沢幹事長、フジモリ大統領に対し、同国に中古トラック1000台を寄贈する旨通知。(NK, MN)
3. 1	チリ	三菱重工と三菱商事、同国国営銅公社から年産約60万トンの大型硫酸プラントを受注、契約に調印。(NK, MN, AH, NS)
3. 5	メキシコ	メキシコ国営石油会社、2月積み対日直接取引(DD)原油価格の引下げを通知。イスムス原油は1バレル15.95ドルに。(NK)
3. 6	チリ	KDD、同国との間で「ジャパン・ダイレクト」などの新サービス開始。(YU, NS)
3. 7	ニカラグア	政府、同国に9億円の無償資金協力をする書簡を交換。(NK)
3. 8	ペルー	政府、同国に35億円の無償資金協力をする書簡を交換。(NK)
3. 8	ベネズエラ	米エクソン、三菱商事と英・オランダ系ロイヤル・ダッチ・シェルと組む同国での現地合弁のガス田開発・液化基地計画の事業化開始を宣言。(NE, AH)
3. 11	ベネズエラ	日本輸出入銀行、同国政府と、6億ドルのアンタイドローンを供与する契約に調印。(NK, YU)
3. 15	ブラジル	同国、日米欧民間銀行に対し債務の利払いを再開。89年7月に元利払いをストップして以来1年8か月ぶり。(NE, MN)
3. 18	ペルー	フジモリ大統領、新厚生相に日系人ビクトル・ヤマモト氏を指名。(NE, YU)
3. 21	中南米	マルフォード米財務次官、中山外相に対し、中南米支援構想の新基金への日本の資金拠出を要請。(YU)
3. 23	メキシコ	東京・渋谷で「ビバ、ブニュエル!メキシコ回顧録」始まる。同監

		督のメキシコ時代の映画を上映。(YE, ME)
3. 26	エルサルバドル	外務省人事。小野純男氏、兼エルサルバドル大使。(YE)
3. 26	ペル	同国政府と日米欧民間銀行団、ニューヨークで累積債務問題についての会合を開催。86年9月以来およそ4年半ぶり。(AH, NK)
3. 28	中米	ベーカー米國務長官、小沢幹事長との会談で、中米支援への協力を要請。(YU, AE)
3. 30	ペル	NHKエンタープライズ社、同社後援の自動車国際ラリー運営に協力した同国の団体に8万5000ドルの寄付を書面で約束しながら1年近く未払いであることが判明。(MN)
4. 1	中南米	通産省、中南米への投資促進のため5月にも官民合同の投資調査団を派遣すると発表。(MN)
4. 1	ボリビア	外務省人事。梶国命、高畑敏男ボリビア大使。(YU, MN)
4. 4	中米	海部首相、日米首脳会談で米国提案の「中米支援民主開発協力構想」に対する日本側からの協力案を表明。(YU, AH)
4. 5	ベネズエラ	米州開発銀行(I DB)と日本輸出入銀行、同国の公企業改革プログラムに対する協調融資協定を締結。(NK, AH, MN)
4. 5	キューバ	同国、日本の商社に対し、粗糖の船積み延期を要請。外貨不足に苦しむ同国の用船事情が悪化しているため。(NK)
4. 5	ペル	フジモリ大統領来日、6日皇太子殿下と会見、橋本蔵相、日銀総裁と会談、7日米州開発銀行年次総会に出席、8日海部首相、中山外相と会談。(AH, NK, MN)
4. 5	ペル	首都リマで、日本大使館を狙った爆弾テロ。けが人はなし。(NK, YU, AH, ME)
4. 6	中南米	米州開発銀行(I DB)年次総会の開幕を控え「90年代における民間投資への挑戦」をテーマとするI DBセミナー、名古屋にて開催。(NK)
4. 6	ペル	米州開発銀行の姉妹機関である米州投資公社(I I C)、中南米諸国への投資促進をテーマとするセミナーを名古屋にて開催。(NE, YE, YU)
4. 6	中南米	橋本蔵相、I DBのエンリケ・イグレシアス総裁と会談、I DBへの一層の協力を約束したが、その前提として日本のI DB投票権のシェア引上げを要請。(NK, MN)
4. 7	中南米	(-9) 米州開発銀行(I DB)年次総会、名古屋にて開催。橋本蔵相、中南米への公的債務削減には応じない姿勢を表明。一方、米国提案の中南米支援基金に関しては、5億ドルの拠出を表明した日本

4. 7	ペ ル ー	と消極的な欧州各国の態度との対象が際立つ。(NK, YU, YE, AH, MN) 同国政府と日米など債権国政府、国際機関、民間銀行、債務問題打開に向けた非公式協議を開催。ペルー支援で関係国一致。(NK, MN)
4. 7	中 南 米	橋本蔵相、マルフォード米財務次官と会談、同次官、中南米支援基金への日本の協力を謝意を表明。(NK)
4. 8	ペ ル ー	海部首相、フジモリ大統領と会談、コレラ対策で同国への支援を表明。(NE, MN)
4. 8	ペ ル ー	石川日商会長、フジモリ大統領と会談、「ペルー児童支援募金」の送金を伝える。(YU)
4. 8	ブ ラ ジ ル	同国と日米欧民間銀行団、延滞利息80億ドルの返済で最終合意。(YE)
4. 8	トリニダード トバゴ	日本輸出入銀行、同国に対し4000万ドルを限度とする円建てアンタイドローンを供与する契約に調印。(NK, MN)
4. 8	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、3月積みの直接取引(DD)原油価格の引上げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル16.42ドル、マヤ原油が11.74ドル。(NK)
4. 8	ペ ル ー	ヤクルト本社、同国政府にコレラ菌検出用キットなどの物資を寄贈。(NK, AH, NS)
4. 9	ペ ル ー	政府、同国の地震災害に対して40万ドル相当の緊急援助を決定。(NK, AH, MN)
4. 10	ペ ル ー	医療品製造2団体、同国への医薬品援助を決定。(NK)
4. 18	ボ リ ビ ア	神奈川県警保安課と横浜伊勢佐木署、横浜水上署、同国出身の中国人らを麻薬取締法違反などの容疑で逮捕。(YE)
4. 19	エルサルバドル	上島珈琲の上島忠雄会長、同国政府よりホセ・マティアス・デルガド・グラン・オフィシャル勲章を受章。(NK)
4. 24	メ キ シ コ	メキシコ電信電話会社(テルメックス)、大蔵省に株式の売り出しを登録。(NK)
4. 26	パナマ ・コスタリカ	政府、地震の被害を受けた両国に対しそれぞれ5万ドルの緊急援助と物資援助の実施を決定。(AE)
5. 2	ニカラグア	米ブッシュ大統領、同国の支払延滞金救済のための資金援助を要請する書簡を海部首相に送っていたことが明らかに。(NK, YE, MN)
5. 2	メ キ シ コ	政府、同国国営石油公社に対し、10億ドルを限度とする信用供与枠を設定する方針を決定。(YU, MN, AH)
5. 7	アルゼンチン ・ボリビア	成田税関支署と千葉県警新東京国際空港署、コカイン5.7キロ(末端価格4億円相当)をボリビアから密輸しようとしたアルゼンチン

		人を逮捕。(NK, YE)
5. 7	メキシコ	ヒルズ米通商代表、米墨自由貿易協定の締結の際には日本企業の利用に歯止めをかける考えを上院財政委員会で表明。(NE)
5. 8	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、4月積みの直接取引(DD)原油価格の引上げを通告。新価格はイスマス原油が1バレル16.60ドル、マヤ原油が12.20ドル。(NK)
5. 9	ペルー	政府、同国に医療専門家5名の派遣を決定。(NK)
5. 10	コロンビア	警察庁保安2課と新宿署、同国人女性5人を麻薬取締法違反容疑で逮捕、コカイン214.1グラム(末端価格1500万円相当)などを押収。(YU, AH, MN)
5. 15	中南米	政府、中南米4か国(メキシコ、チリ、ペルー、ニカラグア)への大型経済援助を91年度中に実施する方針。(NK)
5. 19	ブラジル	「フォリャ・デ・サンパウロ」紙、家族ぐるみでの日本への出稼ぎが増えた結果、日系老人の老人ホームへの入居申請が増加していると伝える。(ME)
5. 19	メキシコ	世界ボクシング評議会(WBC)ストロー級王者リカルド・ロペスに、日本の平野公夫が挑戦。ロペスのTKO勝ち。(YU)
5. 20	ニカラグア	政府、同国への7000万ドルの経済援助実施を表明。(NK)
5. 22	中南米	政府、ブッシュ米大統領の提唱する中南米諸国支援のための投資基金に対し今年度1億ドルを資金協力することを決定。(NE, YU)
5. 22	アルゼンチン	東京・芝で同国建国記念日にちなんだコンサート「タンゴ5月祭」開催。(YE)
5. 27	ボリビア	コレラの被害が広がる同国の児童救済のため、在日ボリビア人らがチャリティー・コンサート「ボリビア・デ・フェスタ」開催。(YU)
5. 28	中南米	愛知環境庁長官、92年6月ブラジルで開かれる地球サミットに向けて地球サミット本部設置を表明。(NE, ME)
5. 29	メキシコ	(-30) 東京で「日墨21世紀委員会」初会合。(NK, YU)
5. 31	ジャマイカ	海部首相、マンリー首相と会談、同国への86億円の円借款供与を表明。(NK, YU, MN)
5. 31	キューバ	(-6.7) 東京などで野球の第2回日本・キューバ選手権。キューバが優勝。(YU)
6. 3	メキシコ	大阪で開かれた国際金融会議総会で、セラ・ブチェ商工相、投資への規制緩和を進める同国が信用を回復したことを強調。(YU)
6. 4	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、5月積みの直接取引(DD)原油価格の引上げを通告。新価格はイスマス原油が1バレル17.15ドル、

		マヤ原油が12.35ドル。(NK)
6. 5	メキシコ	来日中のセラ・プチェ商工相、記者会見で、北米自由貿易圏は外に開かれており同国は日本企業の投資を望んでいると表明。(MN)
6. 5	中南米	来日中のスペイン・ゴンサレス首相、橋本蔵相との会談で、中南米支援に関して日本と協力の意向を表明。(YE)
6. 6	チリ	住友金属鉱山、米フェルプス・ドッジ社が同国北部で進めているラ・カンデラリア銅鉱床開発プロジェクトに参加すると発表。(NK, YU, AH, MN, NS)
6. 8	ペルー	フジモリ大統領、日米が同国に対し今後2年間で7億5000万ドル融資することで合意したと発表。(AH, MN, NK)
6. 11	中南米	警察庁、麻薬犯罪組織の日本進出を受けて、コカイン対策要綱を制定し、取り締まりの本格化を決定。(YE)
6. 14	ボリビア	外務省人事。駐ボリビア大使に池田浩氏を起用。(NE, ME)
6. 14	メキシコ	世界ボクシング評議会(WBC)ジュニア・フェザー級王者畑中清詞にダニエル・サラゴサが挑戦。サラゴサの判定勝ち。(YU)
6. 17	メキシコ	来日中のグリア大蔵省次官、邦銀約20行に対し、短期債務を証券化する新方式の債務削減案を提示。(NK)
6. 17	中米	政府、中米難民の救援策を応急措置的な支援から生活の場の整備に役立つものに重点を移し、その資金として400万ドル拠出することを決定。(AH)
6. 17	メキシコ	(-28) 東京・港区で「メキシコ現代版画展」。(YU)
6. 21	チリ	政府、同国の土砂崩れ災害に対し10万ドルの緊急援助実施と、医療品、毛布などの援助物資供与を決定。(NE, AE)
6. 24	メキシコ	日本輸出入銀行、同国のガソリン無鉛化事業に対するアンタイドローン総額536億円を供与する契約に調印したと発表。(YU, MN)
6. 25	ボリビア	東京警視庁保安2課、コカイン約3キログラム(末端価格約2億700万円)所持のボリビア人ら5人を逮捕。(NE, YE, AH, NE)
7. 1	ブラジル	サンパウロ連邦警察、日系ブラジル人の出稼ぎ者募集のため会社説明会を開いていた会社役員ら5人を刑法違反で逮捕。(NE, YE)
7. 1	ウルグアイ	外務省人事。帰国命・免、広岡欣之助ウルグアイ大使。(YU, YE)
7. 2	ペルー	トヨタ自動車、同国の現地組み立て工場の操業全面休止を発表。同国政府が完成車の輸入関税を大幅に引き下げたため。(NE, AH)
7. 3	ペルー	リマで日本車販売店2軒を狙った爆弾テロ。市民2人が負傷。(YU, AE)
7. 3	ボリビア	同国麻薬シンジケートを捜査中の神奈川県警保安化と伊勢佐木・横

		浜水上署、新たに密売人の中国人3人逮捕。(YU)
7. 5	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、6月積みの直接取引(DD)原油価格の引下げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル16.65ドル、マヤ原油が11.99ドル。(NK)
7. 9	ブラジル	サンパウロ発成田行きの日航機の手荷物から時限爆弾発見、所有者の日本人を一時拘束。30日までに空港職員を逮捕。(NK, YU, YE, AH, AE, MN, ME)
7. 10	メキシコ	日本の石油会社、同国に対し、直接取引(DD)原油の値決めに一定の基準を取り入れるよう要請。(NK)
7. 10	ベネズエラ	外務省人事。帰国命、浦辺彬ベネズエラ大使。(YU, MN)
7. 11	メキシコ	日本の観測隊11人が同国で皆既日食を観測。(NE, AH, MN)
7. 11	中南米	大蔵省、邦銀が中南米をはじめとする累積債務国など外国向け債権を償却する際の基準を緩和する方針。(NK)
7. 12	ウルグアイ	外務省人事。駐ウルグアイ大使に、馬淵晴之氏起用。(NE, AE, ME)
7. 12	ペルー	国際協力事業団(JICA)派遣の3人の日本人農業技術者、ワラル市で、左翼ゲリラの「輝く道」(センデロ・ルミノソ)に射殺される。フジモリ大統領、ゲリラ排除への強い決意を表明。(NK, NE, YU, YE, AE, AH, ME)
7. 16	ニカラグア	政府、同国に海外青年協力隊を派遣するための書簡を交換。(NK)
7. 16	ペルー	ワラル市で日系人農場主が左翼ゲリラとみられるグループに誘拐される。同夜、別の日系人の農場が襲われペルー人ガードマン1人死亡。誘拐された農場主は、身代金を払って28日に解放。(NE, YU, YE, AH, AE, MN, ME)
7. 18	ニカラグア	東京・調布でニカラグア「素朴画」展。鍼灸治療にとりくんでいる井上真さん支援のため。(YU)
7. 18	ペルー	日本人農業技術者殺害事件で、外務省と国際協力事業団それぞれの調査団、リマに向けて出発。(NK)
7. 18	ペルー	在ペルー日本大使館、日本人駐在員の夜間外出自粛を要請。(NE)
7. 20	ペルー	外務省、同国渡航に対して自粛勧告。(NK, YU, AH)
7. 23	メキシコ	日本輸出入銀行と民間銀行9行、同国に対する総額624億円の協調融資を決め、貸付契約に調印。発電所建設を対象としたもの。(NK)
7. 23	ペルー	リマ市郊外で日系人夫妻が帰宅途中に襲われ死傷。(NE, YE, AE, ME)
7. 23	ペルー	日本赤十字社、同国救援事業のため5000万円送金を決定。(MN, AH)
7. 24	中南米	厚生省、先に米国で残留農薬汚染を指摘されていた中南米産バナナの検査強化を支持。(MN)

7. 24	ペ ル ー	リマ市で元日系協会会長経営の電気店がダイナマイトで襲われる。死傷者はなし。(AH)
7. 25	ペ ル ー	JICA、同国に派遣している専門職員と海外青年協力隊員全員の一時引き揚げを決定。(NK, AE, MN)
7. 25	ブ ラ ジ ル	日伯合弁のウジミナス製鉄所への日本側投資会社日本ウジミナス、同国政府との間で、同製鉄所への出資比率引き上げで合意したと発表。(NK, YU)
7. 27	ペ ル ー	南米歴訪中の猪木参議院議員、ペルー日系人を励ますことなどを目的に同国入り。(YU, MN)
7. 29	ペ ル ー	中山外相、同国での日本人農業技術者殺害事件を受け、JICA派遣専門家の補償制度見直しを同総裁に指示。(NK, YU, MN)
7. 30	ペ ル ー	大統領特使として来日したロスル農相、中山外相と会談、在留邦人保護を約束するとともに、研修生受入れを要望。(NK, YE, AH)
7. 31	アルゼンチン	同国政府が日本に対しLNG(液化天然ガス)の開発輸入を要請していることが明らかに。(NE)
8. 1	中 南 米	労働省、南米日系人の就職支援のための「日系人雇用サービスセンター」を東京に開設。(NK, YE)
8. 1	キ ュ ー バ	同国、日本企業に対し、輸入未払い代金の返済猶予と経済協力を要請。同国の未払い代金は1500億円。(NK)
8. 2	コ ロ ン ビ ア	警察庁、薬物犯罪の現状を特集した「警察白書」をまとめ、コロンビア密売組織の本格的進出を指摘。(ME)
8. 2	ペ ル ー	日本人暴力団員、リマの空港においてコカイン所持で逮捕。(NE, YU, YE, MN, ME)
8. 2	ペ ル ー	中山外相、同国での日本人技術者射殺事件に関連して、海外で協力事業に従事している人への補償制度の再検討を表明。(NK)
8. 5	ブ ラ ジ ル	同国上下両院議員6人、海部首相と会談。92年の国連環境開発会議への首相の出席を求めるコロール大統領の伝言を伝える。(YU, MN)
8. 8	メ キ シ コ	同国の7月積みの直接取引(DD)原油価格値上げ。新価格はイスムス原油が1バレル17.55ドル、マヤ原油が12.63ドル。(NK)
8. 9	ペ ル ー	政府、同国で左翼ゲリラに殺害されたJICA職員3名への叙勲を決定。(NE, MN)
8. 9	チ リ	東京銀行、同国政府と投資促進に関する協定を締結。(NK)
8. 9	ブ ラ ジ ル	政府、92年同国で開催される地球サミットの報告原案発表。(NK)
8. 9	ペ ル ー	衆院外務委員会、日本人襲撃事件の犠牲となったJICA職員の遺児のための基金を創設。(NK)

8. 10	南 米	政府、南米日系人に就職情報を提供する公的窓口を現地に設置する方針を決定。まずサンパウロに設置の予定。(AE)
8. 14	ニカラグア	JICA、19日から青年海外協力隊員6人を同国に派遣すると発表。(NE)
8. 20	ブラジル	外務省人事。駐ブラジル大使に村角泰氏を起用。(NE, AE, ME)
8. 23	ブラジル	同国政府、日米欧民間銀行団との債務返済交渉で、新たな債務の証券化を提案。(NK, AH)
8. 27	コロンビア	アンティオキア州サンカルロスで、東芝の技師2人誘拐。(NE, YE, YU, AH, MN)
8. 29	コロンビア	東芝社員誘拐事件でシルバ大統領補佐官、技師2人の生存を明らかにするとともに、左翼ゲリラの犯行で解決に約1か月かかるとの見通しを発表。(NE, YE, AE, ME)
8. 29	ペルー	リマ市内の日系人文化センターで爆弾テロ。負傷者はなし。(YE, AE, ME)
8. 30	パナマ	外務省人事。駐パナマ大使に杉山洋二氏を起用。(NE, YE, AE, ME)
9. 2	コロンビア	東芝社員誘拐事件で同社、現地に対策本部設置。(NE, MN)
9. 3	ブラジル	政府、同国政府が円借款の遅滞金を一括返済したと発表。(YU)
9. 5	ブラジル	中尾通産相、来日中のモレイラ経済相と会談、同国のリスケジュールに伴い日本政府が貿易保険で立て替えている8億ドルの返済を要請。同経済相は返済時期の明言を避ける。(NK, MN)
9. 5	ブラジル	政府、同国への円借款手続きを2年ぶりに再開。総額640億円の借款契約に調印。(NK, AH)
9. 7	メキシコ	同国の8月積みの直接取引(DD)原油価格値上げ。新価格はイスムス原油が1バレル17.93ドル、マヤ原油が12.86ドル。(NK)
9. 7	ブラジル	(-8)山梨で日系ブラジル人による初の全国サッカー大会。(AE)
9. 10	ベネズエラ	三菱商事など4商社、ベネズエラ国営石油が韓国の現代重工業に発注したタンカー建造費を協調融資する。カントリーリスク分散のため。(NK)
9. 15	アルゼンチン	外務省人事。帰国命、藤本芳男アルゼンチン大使。(YU, MN)
9. 16	エクアドル	住友商事、日本電気と組み、同国電話公社(イエテル)からデジタル交換器を20億円で受注。(NK)
9. 20	メキシコ	日産、自動車組み立ての第二工場建設に着手、生産能力年25万台を目指す。(NK, NS, AH)
9. 20	ブラジル	日米欧民間銀行団と同国、500億ドルに達する同国の債務について証券化などの再編策で一致。(NE)

9. 23	中 南 米	中山外相、ニューヨークでリオグループ諸国外相と会談、同グループ、日本に対し累積債務・貧困問題解決のための協力要請。(MN)
9. 27	ベネズエラ	三井物産、同国の化学設備建設に債務証券化を活用。(NK)
9. 27	ブラジル	外務省人事。免、賀陽治憲ブラジル大使。(YE)
10. 1	コロンビア	東京地裁、90年5月コカイン密輸の疑いで逮捕された同国の船員に無罪判決。(NK, YU, MN, AH)
10. 1	ブラジル	1908年の第一回ブラジル移民船「笠戸丸」で現地に渡った臼井政代さん、バンデイランテス市で死去。(YE, NE, ME)
10. 1	ペルー	外務省人事。帰国命、妹尾正毅ペルー大使。(YU, MN)
10. 2	ハイチ	政府、ODA 4原則を初めて適用し、同国への経済援助停止を決定。3日坂本官房長官、軍事政権不承認と経済援助凍結を表明。外務省、同国への渡航自粛勧告。(NK, YE, YU, AH)
10. 3	ハイチ・ メキシコ	同国でクーデターに巻き込まれた邦人7人、メキシコ政府の協力で空路メキシコ入り。8日中山外相、協力に感謝の意を伝える。(YE, YU, ME)
10. 5	メキシコ	同国の9月積みの直接取引(DD)原油価格値上げ。新価格はイスマス原油が1バレル19.21ドル、マヤ原油が13.99ドル。(NK)
10. 8	ペルー	外務省人事。駐ペルー大使に西崎信郎氏起用。(NE, ME, AE)
10. 10	ペルー	政府、13億1700万円を限度とする無償資金供与の書簡を同国政府と交換。(NK)
10. 11	メキシコ	日産自動車、北米自由貿易協定発効をにらんで米国製新型車向けエンジンのメキシコ生産の方針を決定。(NK)
10. 12	中 南 米	法務省入国監理局発表。90年12月現在の外国人登録者は107万人で過去最高。とりわけブラジルなど日系南米人が急増。(NK, MN)
10. 14	中 南 米	(-24) 鈴木外務政務次官、グアテマラ、ニカラグア、パラグアイ、ブラジルを訪問。日本の国連非常任理事国立候補への支持を働きかける。(NK, AH)
10. 15	パナマ	外務省人事。免、加藤淳平パナマ大使。(YU)
10. 16	ボリビア	パス・サモラ大統領来日。17日海部首相と会談。18日天皇陛下と会見。(YU, NE)
10. 17	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、対日直接取引(DD)原油の値決め方式見直しの拒否を通告。(NK)
10. 21	中 南 米	警視庁開催の「麻薬犯罪取り締まりセミナー」において「コカイン対策情報交換会」が行われ、南米5か国が現状報告、日本の捜査官と情報を交換。(NE)

10. 23	ペ ル ー	来日中のボローニャ経済財政相、パリ・クラブ合意に基づき4億ドルの新規融資を受けることで日本政府と基本合意した旨発表。(NK)
10. 24	メ キ シ コ	金属鉱業事業団、東太平洋のメキシコ沖で海底熱水鉱床を発見したと発表。(NK, NS)
10. 24	ブ ラ ジ ル	日伯合弁のウジミナス製鉄所の株式放出に伴う入札が実施され、同国国内企業とともに東京、三菱、住友など邦銀数行も落札。(NK)
10. 26	アルゼンチン	アルゼンチン・タンゴの「ホルヘ・アルドナ楽団」、東京・練馬でコンサート。(YU)
10. 31	ブ ラ ジ ル	外務省人事。退職、野口辰夫レシフェ総領事。(YU)
10. 31	アルゼンチン	(-12. 29) 東京・森下でマヌエル・プイグの劇作品「薔薇の花束の秘密」と「蜘蛛女のキス」上演。(YE)
10. 31	メ キ シ コ	「日墨21世紀委員会」第2回会合開催。日本側座長の松永前駐米大使、同国との貿易促進のための拠点設置を提言。(NK, AH, MN)
11. 6	ブ ラ ジ ル	東京・大井町でシンポジウム「ブラジルの環境と開発」開催。(YU)
11. 7	コ ロ ン ビ ア	東京税関成田支署と千葉県警新東京国際空港署、コカイン約1.7キロ(末端価格約1億2000万円)を持ち込もうとしたコロンビア人を逮捕。(NK, YU, AH, MN)
11. 7	ベ ネ ズ エ ラ	本田技研、同国での乗用車の生産、販売開始を発表。(NK, NS, AH)
11. 8	メ キ シ コ	同国国営石油会社ペメックス、日本の石油業界に対し、軽質原油の供給を92年から約5割削減すると通告。(NK)
11. 8	アルゼンチン	外務省人事。駐アルゼンチン大使に山本学氏を起用。(NE, YE, AE, ME)
11. 8	ブ ラ ジ ル	(-10) サンパウロ市でブラジル日本文化協会主催の「“出稼ぎ”現象に関するシンポジウム」開催。(NK, AE)
11. 9	メ キ シ コ	同国の10月積みの直接取引(DD)原油価格値上げ。新価格はイスムス原油が1バレル20.20ドル、マヤ原油が14.78ドル。(NK)
11. 10	ブ ラ ジ ル	日系人の「ユバ農場バレエ団」が東京を皮切りに全国巡回公演。(YU, MN)
11. 13	ハ イ チ	通産省、米国の同国向け禁輸の効果を損なうような日本からの輸出を自粛するよう貿易業界に要請したことを表明。(NK)
11. 15	ペ ル ー	日本など6か国共同の「シカン文明学術調査団」が金の王冠を発掘したことが明らかに。(YU, MN)
11. 15	ニ カ ラ グ ア	外務省人事。梶国命、小西芳三ニカラグア大使。(YU)
11. 16	ブ ラ ジ ル	戦後初めて同国で邦字新聞「サンパウロ新聞」を創刊した水本光任同新聞社会長、死去。(NK, YU, AH, MN)

11. 19	南 米	政府、南米経済ミッション（团长：佐波経団連副会長）を23日から12月5日までブラジル、チリ、アルゼンチンに派遣すると発表。（AH）
11. 22	ペ ル ー	外務省人事。免、妹尾正毅ペルー大使。（YE, ME）
11. 26	中 南 米	（-27）経済企画庁、「第2回経済協力シンポジウム」を開催、同庁担当官や日本の有識者とブラジル、メキシコなど7か国の経済政策担当者が発展途上国への資金還流問題を議論。（NK）
11. 27	中 南 米	日本経済界のラテンアメリカ経済ミッション、サンパウロで記者会見、佐波团长、中南米への投資拡大の意欲を表明。（NK）
11. 28	ボ リ ビ ア	横浜で開かれる「国際熱帯林機関」（ITTO）理事会に抗議するため同国の原住民2人が来日。（YU）
12. 3	ブ ラ ジ ル	日伯合弁ウジミナス製鉄所の日本側出資会社日本ウジミナス、出資比率引上げのため債務株式化で資金調達する方針を決定。（NK, AH）
12. 4	チ リ	住友商事と山陽国策パルプ、ユーカリの植林事業に乗り出すことを決め、11月同国に合弁会社を設立したと発表。（YU, NK, NS）
12. 6	メ キ シ コ	同国の11月積みの直接取引（DD）原油価格値下げ。新価格はイスラム原油が1バレル19.70ドル、マヤ原油が13.82ドル。（NK）
12. 7	ペ ル ー	政府、546億円の日借款供与の書簡を同国政府と交換。（NK）
12. 8	アルゼンチン	（-11）ギド・ディ・テラ外相来日。（YU）
12. 11	中 南 米	マツダ、ブラジルへの乗用車輸出開始。その他日本の自動車メーカー各社、一斉に中南米への輸出を開始。（NK, NS）
12. 11	メ キ シ コ	（-15）東京・世田谷で「和紙造形日本・メキシコ展」。（YU）
12. 12	メ キ シ コ	国内石油各社、同国国営石油会社ペメックスに対し、92年1月の原油取り引き量を現在の3分の2に削減することを近く通告する予定。（NK）
12. 16	コ ロ ン ビ ア	8月に誘拐されていた東芝社員2人、事件発生から111日ぶりに無事解放。渡辺外相、同国政府に感謝の意を表明。（NE, YE, AE, ME）
12. 17	コ ロ ン ビ ア	同国有力紙ティエンボ、東芝2社員の解放で、身代金として巨額のドルが支払われたと報道。（NK, YU, MN）
12. 20	メキシコ・チリ	資生堂、両国現地企業と代理店契約を結び、来年秋から化粧品の販売を始めると発表。（NK, NS, AH）
12. 24	ブ ラ ジ ル	日本航空、パリグ・ブラジル航空との共同運送で名古屋-サンパウロ-リオデジャネイロ線の開設を運輸省に申請。（NK, NS）
12. 27	ブ ラ ジ ル	在サンパウロ日本領事館発表。90年のビザ申請受け付けは6万773件のビザ申請で4年連続の記録更新。（NE）

（以上208項目）

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1992年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 15(2)
Issue Date	1994-03-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9270
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資 料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1992年－

月日	国名	記 事
1. 9	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、12月積み対日直接取引（DD）原油価格の大幅値下げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル16.60ドル、マヤ原油が10.60ドル。（NK）
1. 9	ペルー	国連専門機関の国際熱帯木材機関（ITTO、本部横浜）、イトーヨーカ堂が民間企業として初めて拠出した活動資金のうち21万5000ドルを同国熱帯雨林の保護再生に使うことを決定。（NK）
1. 14	メキシコ	日立製作所、米国での投射型テレビの生産を92年中にメキシコに全面移管することを決定。（NK）
1. 16	エルサルバドル	小野純男大使、メキシコ市で行われたエルサルバドル和平協定調印式に出席。（MN）
1. 16	ペルー	日産自動車、同国の現地組み立て工場の操業を停止。関税政策の変更により現地生産のメリットがなくなったため。（NE）
1. 17	中南米	外務省人事。中南米局長に寺田輝介フランス兼ジブチ公使を起用。（YU, ME）
1. 17	ニカラグア	外務省人事。免、小西芳三ニカラグア大使。（YU）
1. 18	南米	国際電信電話（KDD）、南米出身の在日就労者向け生活情報誌「インフォーマチーボ 001」を発刊、無料配布。（NK, NS, AH, MN）
1. 24	コロンビア	現地法人に出向していたマツダ社員が強盗に撃たれ重体、2月10日に死亡。15日同国国家警察、警官2人を逮捕。（NK, NE, YE, AE, MN）
1. 31	ペルー	シカン文明学術調査団の増田義郎団長、都内で記者会見し、遺跡から多数の黄金製品を発掘したと発表、発掘品の写真を公開。（NK, YU, AE, MN）
1. 31	ベネズエラ	ペレス大統領、日本経済新聞との記者会見で、日本を国連安保理の常任理事国に加えるべきとの見解を表明。（NK）
2. 4	中米・パナマ	通産省、グアテマラ、ニカラグア、ホンデュラス、コスタリカ、エルサルバドル、パナマに経営支援などを目的とした民間調査団を3月に派遣することを決定。（NK）
2. 5	ブラジル	外務省人事。レシフェ総領事に堅山道助ポルトアルグレ総領事を起

		用。(MN)
2. 6	コロンビア	同国に永住している日本人電気工事会社社長、1月31日にモコア市で左翼ゲリラとみられる武装グループに誘拐されていたことが判明。(NE, AE, ME)
2. 10	アルゼンチン	本田技研工業、同国で二輪車のKD(現地組み立て)生産に近く着手すると発表。(NK, AH, MN)
2. 11	中南米	政府、中南米諸国で民間投資を促進するための多数国間投資基金を設立する協定にワシントンで署名。日本は5億ドルづつを今後5年間にわたって拠出する。(NK, YE, MN)
2. 12	コロンビア	柿沢外務政務次官、カルタヘナで開催中の国連貿易開発会議(UNCTAD)第8回総会で演説、途上国への援助を減らさないように配慮する旨表明。(NE)
2. 14	エクアドル	東京税関、同国船籍の貨物船からコカイン約5キロ(末端価格約3億5000万円相当)を押収。(YE, AH, ME)
2. 20	チリ	住友金属工業と住友商事、米非鉄大手のフェルプス・ドッジ社所有のラ・カンデラリア銅鉱山の開発プロジェクトに参加する契約に調印したと発表。(NK)
2. 22	コロンビア	1月31日に誘拐されていた邦人社長、モコア市郊外で無事解放。(NK, YU, AH, MN)
2. 23	中米	政府、エルサルバドルを軸に中米諸国への支援強化方針を決定。(NK)
2. 25	パナマ	政府、同国への初の円借款供与を決め、同国政府と書簡を交換。129億5000万円を供与する。(NK, MN)
2. 27	ブラジル	日米欧などの主要債務国会議(パリクラブ)、300億ドル近くに達する同国の公的債務の一部繰り延べで合意。(NE, YE)
2. 27	中南米	米国と中南米6か国による「第2回麻薬サミット」、日本やECへの協力要請とそのため代表団派遣で合意。(YE)
2. 28	中米	外務省、中米支援の一環として、中米6か国の選挙事務関係者を日本に招いての選挙研修と、民主開発パートナーシップ(PDD)経済開発作業部会の東京での開催を発表。(NK)
2. 28	ベネズエラ	丸紅など日伊企業連合、同国国鉄から鉄道建設プロジェクトを受注。(NK)
2. 28	ブラジル	日本電気の現地法人NEC・ド・ブラジル、同国国営電気通信会社から光ケーブル敷設工事を受注。(NK)
2. 28	チリ	外務省人事。免、色摩力夫チリ大使。(YU)

3. 1	ブラジル	外務省人事。ポルトアレグレ総領事に大川忠治外交資料官長を起用。(MN)
3. 2	パナマ	ワシントン条約で国際商取引が禁止されているヒメウミガメが90年、同国の許可のないまま日本に大量に輸入されていたことが判明。(NE, ME)
3. 2	ペルー	経団連関連組織の日本国際協力機構(JAIDO)、フジモリ大統領の来日に合わせ救急車10台を同国に贈与すると発表。(NK, MN)
3. 3	ドミニカ共和国	国際協力事業団(JICA)の農業専門家、刺殺される。(NK, YU, AH, MN)
3. 3	ブラジル	外務省人事。ポルトアレグレ総領事に、大川忠治外交史料館長を起用。(YU)
3. 3	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ連邦電力委員会(CFE)に対して総額300億円を限度とするバイヤーズクレジットを供与する協定を締結したと発表。(NK)
3. 4	ドミニカ共和国	外務省、邦人技術者刺殺事件に関し同国に対して在留邦人の安全確保と早急な事件の究明を要請。(NE)
3. 5	エルサルバドル	渡辺副総理・外相、リエバノ企画調整相と会見、5月下旬からの日本大使館再開を伝えるとともに、約500万ドルの緊急支援実施を表明。(NE, YE, AH, MN)
3. 6	ドミニカ共和国	同国国家警察、邦人農業専門家刺殺事件の容疑者を逮捕。(NE, NK, YE, AE, ME)
3. 7	ペルー	国際電信電話(KDD)、在日ペルー人を対象にしたスペイン語の無料テレフォンサービスを開始。(NK)
3. 7	メキシコ	日墨民間レベルの賢人会議である「日墨21世紀委員会」、外務省で全体会合。(NK, YU, AH)
3. 13	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、2月積み対日直接取引(DD)原油価格の引き上げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル17.08ドル、マヤ原油が11.30ドル。(NK)
3. 13	メキシコ	同和鉱業、メキシコ州ティサパ鉱山の開発権を現地企業と共同で落札したと発表。(NE, NS, AH, MN)
3. 14	パナマ	シチズン社員、誘拐される。26日遺体で発見。(NK, NE, YU, YE, AH, AE, MN, ME)
3. 15	ペルー	(-21) フジモリ大統領、国賓として来日。(NK, YU)
3. 15	ペルー	国際デジタル通信、同国向け国際電話サービス開始。(NK, NS)
3. 16	ペルー	フジモリ大統領、天皇陛下と会見。(NE, YU, AH, MN)

3. 16	チリ・ ベネズエラ	通産省、日本輸出入銀行と米国輸出入銀行、チリ、ベネズエラなど5か国への協調信用供与を決定。(NK)
3. 16	メキシコ	対日原油供給量をめぐる日墨実務レベル交渉決着。92年上半期供給量は10万バレル、下半期は8万バレル。(NE)
3. 16	ペルー	リマの「ペルー・日本文化会館」に爆弾投げ込まれる。(YE)
3. 17	ペルー	フジモリ大統領、国会で日本語で演説。経済、税制の整備やテロ行為鎮圧などの成果を強調するとともに、麻薬対策の厳しさなど現在の窮状を訴えて日本の支援継続を要請。(NE, NK, YE, AE, AH)
3. 17	ペルー	フジモリ大統領、宮沢首相と会談、首相は協調融資の形での1億ドルの円借款、35億円のノンプロジェクト無償資金供与などの同国支援策を表明。(NK, YU, AH, MN)
3. 17	ペルー	フジモリ大統領、渡辺通産相と会談、通産相、同国支援策の一環として日本から同国への輸出に対する貿易保険の適用再開を表明。(NK, YE, AH, MN)
3. 17	ペルー	(-22) 東京・日本橋で「アンデス黄金発掘展－クントゥル・ワシ 学術調査報告」開催。(YE)
3. 18	ペルー	フジモリ大統領、上智大学から名誉博士号。(NE)
3. 18	ペルー	フジモリ大統領、羽田蔵相と会談。(NE)
3. 18	ペルー	渡辺副総理・外相、ブラケル外相との会談で日本の経済ノウハウ供与を目的とした両国の知的交流を提案。(NK, YU)
3. 24	エルサルバドル	政府、国連開発計画(UNDP)を通して同国に30万ドルの緊急人道援助を実施することを決定。(YE)
3. 25	チリ	外務省人事。駐チリ大使に江藤之久日本貿易振興会(JETRO)理事を起用。(NE, AE, ME)
3. 26	エクアドル	第一勧業銀行、同国への債権100万ドルを自然保護基金に寄付、債務環境スワップを取り扱おうと発表。(NK, AH, MN)
3. 30	中米	(-31) 「民主開発パートナーシップ(PDD)」の経済開発作業部会、東京で開催。(YU, AH)
3. 31	アルゼンチン	来日中のカバーロ外相、羽田蔵相と会談、同国と日米欧債権銀行との債務削減交渉が数日中に決着するとの見通しを表明。(NK)
4. 1	メキシコ	メキシコ日産のクエルナバカ工場で労働者が賃上げ要求スト、工場が操業停止。(NE)
4. 2	メキシコ	政府、同国の環境保全事業を支援するため225億円の円借款供与を決め、同国政府に通知。(NK)
4. 2	パナマ	シチズン社員誘拐殺人事件で、同国最高検察庁、同社社員の中国系

4. 3	南 米	パナマ人らを逮捕したと発表。(NE, AE, AH, ME) 国際電信電話(KDD)、海外日系人協会と共同で作成したスペイン語の生活ガイドを南米からの在日就労者向けに無料配布開始。(NK)
4. 6	中 南 米	内海大蔵省顧問、ドミニカ共和国のサントドミンゴで開催中の米州開発銀行(IDB)総会で、IDB基金への10億円の追加拠出を表明。(NK)
4. 7	ペ ル ー	宮沢首相、フジモリ大統領の非常措置に対し、同国への援助の見直しは考えていないとして当面事態を静観する考えを表明。(AE)
4. 7	アルゼンチン	同国と日米欧民間銀行の債務返還交渉決着。債務を証券に転換して返済負担を軽減する。(NE, AH, MN)
4. 7	コ ロ ン ビ ア	1月のマツダ社員殺害事件で裁判所、犯人の2警官に有罪判決。(NK)
4. 8	ペ ル ー	外務省首脳、フジモリ大統領が7日夜、非常措置について西崎駐ペルー大使に説明し、日本側の理解を求めていることを明らかに。(YU, AH, MN)
4. 8	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、マヤ原油の3月積み対日直接取引(DD)原油価格の値上げを通告。新価格は1バレル11.68ドル。イスムス原油は17.08ドルで据え置き。(NK)
4. 8	ブ ラ ジ ル	(-9)日伯の政財界関係者が両国の経済交流について話し合う「日伯経済合同委員会」、サンパウロにて開催。(NE)
4. 10	エ ク ア ド ル	政府、洪水で被害を受けた同国に対する10万ドルの緊急援助を決定。(NE, YE, MN)
4. 10	ブ ラ ジ ル	リオデジャネイロで「日伯経済シンポジウム」開催。(NK)
4. 11	ペ ル ー	アリトミ駐日大使、同国が憲法改正のための検討委員会を来週中にも発足させると表明。(NK)
4. 14	ブ ラ ジ ル	来日中のモレイラ経済相、羽田蔵相と会談、6月の国連環境開発会議に関して日本の資金協力に期待を表明。(NK)
4. 15	ペ ル ー	リマの日本大使館前で反フジモリ派がデモ。(ME)
4. 16	南 米	日系人の急増などにより小中学校で日本語教育を必要とする外国人児童・生徒が約5500人いることが、文部省の調査で判明。(YU)
4. 21	ブ ラ ジ ル	同国の民間銀行向け債務再編交渉、ニューヨークで再開。(NK)
4. 22	メ キ シ コ	東京・新宿で「古代メキシコ至宝展」。(YU, ME)
4. 24	コ ロ ン ビ ア	国際電信電話(KDD)、同国との国際通信が不通になったと発表。同国電気通信公社の労働争議が原因とみられる。(NK, NS)

4. 25	ペ ル ー	リマで日本料理店2軒が爆破される。(NK, YU, AH, MN)
4. 28	ブ ラ ジ ル	85年以降中断していた日伯合弁のアルミナ生産プロジェクト「アルノルテ計画」、事業再開に向けた基本合意成立。(NK)
4. 28	メ キ シ コ	政府、グアダハラ市でのガス爆発事故への見舞金として2万ドルの拠出を決定。(YU)
5. 1	ベ ネ ズ エ ラ	日本国際通信 (I T J) 、同国との国際電話サービスの取り扱い開始。(NK)
5. 3	南 米	法務省、南米4か国(ペルー、ブラジル、ボリビア、アルゼンチン)の日系人を対象とした偽変造証明書による在留資格の変更申請などの調査結果を発表。在留不許可処分の9割がペルー人と判明。(NK)
5. 6	中 南 米	国際金融公社 (I F C) がまとめた91年の「発展途上国の株式市場の株価騰落率」によると、中南米を中心とする途上国で軒並み先進国を上回る株価の上昇を記録。(NK)
5. 7	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、原油の4月積み対日直接取引 (D D) 原油価格の値上げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル17.93ドル。マヤ原油が12.84ドル。(NK)
5. 7	コ ロ ン ビ ア	警視庁保安二課と新宿署、コカイン所持(705グラム、末端価格約4900万円)で同国人3人を逮捕。(NK, YU, MN, AH)
5. 11	ドミニカ共和国	1950年代後半に同国に渡った日本人移民の代表、「ドミニカ移民実体調査報告書」の発表を機に開かれた記者会見で、農地無償譲渡の約束の履行と生活苦の訴え。(NK, AH)
5. 13	ブ ラ ジ ル	日本電気、現地企業と合併しパソコンの製造会社を設立する方針を決定。(YU, AH, MN)
5. 14	ペ ル ー	外務省の寺田中南米局長、早期の民主体制復帰を促す宮沢首相の書簡を持ってフジモリ大統領と会談。(AH)
5. 14	メ キ シ コ	同和鉱業、同国非鉄金属会社ペニョーレス社と共同で落札したティサパ鉱床開発のための合併会社設立を発表。(NK, NS, AH)
5. 15	中 南 米	日本長期信用銀行、中南米諸国での民営化関連業務などを手がける「長銀ラテンアメリカ社」を設立したと発表。(NK)
5. 15	南 米	労働省、業績悪化を理由とした安易な解雇を防ぐため、各都道府県に対して企業への指導を強めるよう通達。(NK)
5. 16	南 米	法務省入国管理局発表。91年中に入国した外国人のうち南米からの入国者は前年比約1.5倍の13万7933人に増加。(YU, AH)
5. 20	キ ュ ー バ	ハバナで第3回日本・キューバ野球選手権最終戦、キューバの勝利で同国の優勝決定。(YU)

5. 20	ニカラグア	政府、国際協力事業団（JICA）を通じ、同国へ火山調査団を派遣。（YU）
5. 21	ペルー	ペルー自動車連盟、NHKエンタープライズ社に対し寄付金の支払いを求めて東京地裁に提訴。（NK, AH）
5. 21	ペルー	千葉県警、偽造書類で日系人を装い定住資格を得ようとしたペルー人を逮捕。（NK, YU, AH）
5. 22	コロンビア	同国司法当局、同国と日本を結ぶ麻薬密売組織を本格的に捜査していることを明らかに。（NK, AE）
5. 25	ブラジル	リオデジャネイロ郊外で開かれた「土地・環境・開発に関する先住民世界会議」に日本からアイヌ民族参加。（NE, AE, ME）
5. 26	メキシコ	「日墨21世紀委員会」、最終報告書をまとめ宮沢首相に提出。北米自由貿易協定（NAFTA）によるブロック化回避を目指す内容。（AH）
5. 27	ニカラグア	外務省人事。荒船清彦駐ロサンゼルス総領事を駐ニカラグア大使に起用。（NE, YE）
5. 28	ブラジル	（一29）クリチバで開かれる「UNCED世界都市フォーラム」に日本の自治体から60人が参加。（NK, YE）
5. 30	パナマ	青木建設役員、暴力団稲川会の石井前会長らを中南米旅行に案内、石井前会長がノリエガ元将軍と会見していたことが判明。（YU）
6. 1	アルゼンチン	竹下元首相、メネム大統領、ディテラ外相と会談。（YU, MN, ME）
6. 2	ウルグアイ	竹下元首相、ラカジェ大統領、グロス外相と会談。（YU, AH, MN）
6. 2	ブラジル	日本輸出入銀行、環境対策などを目的とした3億ドルのアントイド・ローンと同国に供与すると発表。（NK, YE, AH）
6. 2	ブラジル	水俣病被害者・弁護団連絡会議代表団、リオデジャネイロで「汚染追放キャンペーン」を開始。（NE）
6. 3	メキシコ	外務省、同国に対し資金還流措置の一環として225億円の円借款を供与すると発表。（NE, YE）
6. 3	ブラジル	国連環境開発会議（地球サミット）に日本から中村環境庁長官ら100人を越える代表団が出席。5日同長官、日本政府代表として演説。（NK, YE, AH）
6. 3	ブラジル	竹下元首相、リオデジャネイロでコロール大統領およびストロング地球サミット事務局長と会談、サミットの場で日本の資本拠出額を提示するのは困難と表明。（NE, YE, ME）
6. 4	ブラジル	竹下元首相、地球サミットの環境賢人会合に出席、日本は応分の貢献をなすべきと表明。（NK, YU, AH, MN）

6. 4	プエルトリコ	出光興産、米石油販売会社USペトロリアムより、同自治領のガソリンスタンド経営会社などを買収したと発表。(NK, NS)
6. 4	ブラジル	リオデジャネイロにて日本の環境問題を紹介するシンポジウム「ジャパン・デー」開催。(NE, YE, ME)
6. 4	ブラジル	竹下元首相「ジャパン・デー」で挨拶、93年度に官民一体で環境保全基金を創設する考えを表明。(NE, YE)
6. 5	ブラジル	水俣病被害者・弁護団連絡会議代表団、リオデジャネイロでシンポジウム「ミナマターアマゾン 水俣病を繰り返すな」開催。(NE, YE)
6. 5	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、原油の5月積み対日直接取引(DD)原油価格の値上げを通告。新価格はイスムス原油が1バレル18.93ドル、マヤ原油が13.97ドル。(NK)
6. 8	ペルー	日本国際通信(ITJ)、同国向け国際電話の取扱い開始。(NK, NS)
6. 10	ブラジル	外務省人事。リオデジャネイロ総領事に、佐々木高久法務省入国管理局総務課長を起用。(YU, MN)
6. 13	ブラジル	政府、同国に対し総額約990億円の環境分野の円借款供与を表明。(NK, YU, AH, MN)
6. 13	メキシコ	政府、同国に対し総額104億円の円借款供与を表明。(NK, YU, AH)
6. 22	ベネズエラ	帝国石油、同国における石油再生権などを落札したと発表。(NK, NS)
6. 23	南米	日本輸出入銀行、アンデス開発会社に総額50億円を供与する貸し付け契約に調印。(NK)
7. 2	ウルグアイ	政府、洪水の被害を受けた同国に対し総額約560万円の緊急援助を決定。(YU)
7. 5	エルサルバドル	政府、同国の国家復興計画に1~2億ドルの経済協力実施の方針を固める。(NK)
7. 8	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、6月積み対日直接取引(DD)価格の引上げを通知。新価格はイスムス原油が1バレル20.36ドル、マヤ原油が15.20ドル。(NK)
7. 9	ブラジル	同国、日米欧民間銀行との債務削減交渉において、元本35%削減などで合意。(NK, YU, AE, MN)
7. 9	ペルー	自民党の金丸副総裁、同国より「ペルー太陽勲章大十字位」を受章。(YU, AH)
7. 22	アルゼンチン	星誕期(本名マルセロ・イマチ)、新十両昇進決定。同国出身の関

		取は初。(AE, ME)
7. 22	アルゼンチン	同国、パリクラブとの債務交渉において中長期公的債務の15年間繰延べで合意。(NK)
7. 22	ペルー	新宿労働基準署、91年7月に同国でテロの犠牲となったJICA職員3人に労災認定。(YE)
7. 22	メキシコ	日産自動車、93年7月から、メキシコ日産で生産した商用車の日本への逆輸入を開始すると発表。(MN)
7. 27	ベネズエラ	皇太子さま、同国訪問。28日ペレス大統領と会見。(NE, YE, AE, AH, ME)
7. 28	アルゼンチン	ITJ(日本国際通信)、同国向け国際通話サービスを開始。(NK, NS)
7. 30	メキシコ	皇太子さま、同国訪問。同日サリナス大統領と会見。(NE, YE, AE, ME)
8. 4	パラグアイ	資生堂、同国の化粧品輸入販売会社モナリザ・インターナショナル社と販売代理店契約を締結。(NK, NS)
8. 6	コロンビア	神奈川県警と横浜水上署、国際麻薬組織「カルテル」の組織員2人をコカイン所持(1キロ、末端価格約7000万円)で逮捕。国内での同組織員逮捕は初。(YU, AH)
8. 7	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、7月積み対日直接取引(DD)価格の引下げを通知。新価格はイスムス原油が1バレル19.84ドル、マヤ原油が14.68ドル。(NK)
8. 10	コロンビア	国際電信電話(KDD)、同国との間で「ジャパン・ダイレクト」などの新サービス開始。(NK, NS)
8. 10	コロンビア・ペルー	警察庁と東京税関、コカイン約5.46グラム(末端価格約3800万円)を所持していた男女4人を逮捕。(NK, YU, AH, MN)
8. 12	メキシコ	外務省報道官、北米自由貿易協定(NAFTA)の交渉妥結に際し、第三国への障壁を高めないことを期待する旨表明。(NK)
8. 14	キューバ	DHLジャパン、同国向け宅配便サービス開始。(NK, NS)
8. 14	メキシコ	北米自由貿易協定(NAFTA)が締結されれば、同国に日本の銀行・証券会社が米国現地法人子会社の形で進出可能と判明。(NE)
8. 18	ベネズエラ	警視庁と東京税関、コカイン所持(2.4キロ、末端価格約1億6000万円相当)で同国人3人を逮捕。(NK, YU, AH)
8. 21	アルゼンチン	政府、同国に対し、プラネタリウムの視聴覚機材購入のため4800万円の文化無償協力を決定。(YU)
8. 31	ブラジル	日本長期信用銀行、リオデジャネイロ駐在員事務所を閉鎖、融資の

		回収業務などはサンパウロ事務所などで対応する。(NK)
9. 2	ドミニカ国	宮沢首相、来日中のチャールズ首相と会談、同国への無償援助に向けての調査団派遣を表明。(NE, YU, AE)
9. 3	ニカラグア	政府、深刻な津波被害を受けた同国への緊急災害援助と、救急医療チーム派遣を決定。(NK, AH, MN)
9. 3	ペルー	自民党、中古トラック400台を同国に寄贈。(YU)
9. 4	ニカラグア	東京都、津波の被害を受けた同国への見舞金として2万ドルを贈ることを決定。(YU, AH, MN)
9. 7	メキシコ	同国、日本の石油業界に対し、8月積み対日直接取引(DD)価格の引下げを通知。新価格はイスムス原油が1バレル19.15ドル、マヤ原油が14.20ドル。(NK)
9. 7	キューバ	(-10) アラルコン外相来日、外務省幹部と会談。(YU)
9. 7	バハマ	政府、ハリケーンの被害を受けた同国への5万ドルの緊急援助実施を決定。(MN)
9. 8	ペルー	政府、11月に制憲議会選挙を予定しているフジモリ政権に対し、7350万円相当の集票用コンピューターシステムの供与と、同システムの研修員受入れを決定。(NK, YU)
9. 10	ブラジル	同国と日米欧民間銀行団、延滞金利をブラジル中央銀行債に証券化して返済する合意書に調印。(NE)
9. 16	ブラジル	川崎製鉄、経営資本参加先のツパロン製鉄所が1500人の人員削減計画をまとめた旨発表。(NK)
9. 22	ブラジル	日本輸出入銀行、ブラジル国立経済社会開発銀行(BNDES)にアンタイドローンを供与する協定に調印。(NK)
9. 24	メキシコ	訪墨中の羽田外相、サリナス大統領と会談、同国への邦銀の直接進出の認可を要請。今後事務レベルで協議する方針。(NE, YE, AE, ME)
9. 25	メキシコ	日墨両政府、日本が「メキシコ首都圏植林計画」に総額104億円の円借款を供与する政府間交換公文に署名。(NE, AH, MN)
9. 29	南米	「経団連自然保護基金」の運営協議会発足。NGOと協力して南米、アジアなどの自然保護事業に参加する。(NK)
9. 29	メキシコ	渡辺通産相、来日中のノヨラ商工業開発省次官と会談、北米自由貿易協定(NAFTA)について2国間協議の場を設けることで合意。(NK)
10. 3	ウルグアイ	(-6) グロス外相来日。5日渡辺副総理・外相と会談、日本の常任理事国入りへの積極的支援を表明。(YU, AH, MN)
10. 3	ホンデュラス	政府、同国国立音楽学校の楽器購入のため、4700万円の文化無償協

		力実施を決め、同国政府と書簡を交換。(MN)
10. 7	チリ	日本のモアイ修復委員会、イースター島のモアイ像修復のため13日よりチリ、米国などと合同で発掘調査を開始すると発表。(NK, AH, MN)
10. 13	メキシコ	9月積み対日直接取引(DD)価格引上げ。新価格はイスムス原油が1バレル19.60ドル、マヤ原油が14.80ドル。(NK)
10. 14	コロンビア	同国麻薬組織によるコカイン密輸事件で、コカインを衣服に染み込ませ密輸する新たな手口が、警視庁の調べで判明。(YE)
10. 15	メキシコ	日本輸出入銀行、メキシコ産業金融公社とメキシコ外国貿易銀行に対し、合わせて100億円を限度とするバンクローンを供与する貸付契約に調印。(NK)
10. 17	南米	科学技術庁、フランスからのプルトニウム輸送を前に、輸送想定ルート沿岸国の理解を得るべくアルゼンチン、ブラジル、チリに担当官を派遣。(NE)
10. 18	コロンビア	(-23) サニン外相来日。(MN)
10. 20	中南米	中南米、日本、米国など13か国の捜査当局者による「環太平洋コカイン対策情報交換会」、東京で開催。(YU, MN)
10. 21	チリ	日本、チリ、米国などによるイースター島の共同発掘調査で、新たなモアイ像や古い時代の祭壇発見。(NE)
10. 21	南米	アルゼンチンとチリの外相、日本のプルトニウム運搬船「あかつき丸」の両国領海通過を共同で阻止するとの声明を発表。ブラジル政府も通過に反対する声明を発表。(NE, AE, MN)
10. 26	ブラジル	労働省、日系人の就職相談に応じる「日伯雇用サービスセンター」をサンパウロ市に開設。(NK)
10. 26	中南米	中南米5か国(チリ、ペルー、コロンビア、エクアドル、パナマ)で構成する「南太平洋常任委員会」(CPPS)、日本のプルトニウム船あかつき丸の各国への入港と領海通過を認めないことで合意したと発表。(NE, YE, AE)
10. 26	ニカラグア	来日中のセサル国民議会議長、宮沢首相と会談、経済協力を要請。(YU, AH, MN)
10. 26	ボリビア	東京税関と新東京成田空港署、コカイン約3.15キロ(末端価格約2億2000万円相当)を密輸入しようとした同国人を逮捕。(YU, MN)
10. 28	ペルー	経営危機のリマ「天野美術館」の支援組織、東京で発足。(YU)
10. 29	ベネズエラ	マツダ、11月より同国で車の販売を開始すると発表。(NK, NS, AH)
10. 30	ペルー	東京のペルー大使館に火炎瓶が投げられる。(NK, YU, AE, MN)

10. 30	中 南 米	国際航空運送協会（IATA）、日本発北米・中南米行きファースト、ビジネスクラス普通運賃を93年中に18%値上することで合意。（NK）
11. 1	カリブ諸国	カリブ共同体・共同市場（CARICOM）、日本のプルトニウム運搬船あかつき丸の運行を非難する共同声明を発表。（NK, YE）
11. 2	ブラジル	外務省人事。帰国令、石垣泰司サンパウロ総領事。（YU, MN）
11. 6	コロンビア	チョコ県にある日本・コロンビア合弁の同鉱山を反政府ゲリラが襲撃、爆破。（YU, ME）
11. 10	メキシコ	同国、対日DD（直接取引原油）の11月積み調整金を、イスムス原油について前月比20%引下げ、1バレル58セントとした。マヤ原油は据置き。（NK）
11. 16	ペルー	加藤官房長官、22日の制憲議会選挙の監視にあたる米州機構（OAS）の選挙オブザーバーチームに外務省職員2人を派遣すると発表。（NE, AE）
11. 17	チリ	（-21）エイルウィン大統領、訪日。（NK, YU, AH, MN）
11. 18	チリ	宮沢首相、来日中のエイルウィン大統領と会談し同国に対する244億円の円借款供与を表明。同国への円借款は20年ぶり。（NK, YU, AH, MN）
11. 18	チリ	羽田外相、エイルウィン大統領と会談、同国向け債権を特定海外債権取引勘定から実質的に排除し、貸倒引き当ての対象外にすることを表明。（NK）
11. 19	チリ	早稲田大学、エイルウィン大統領に名誉博士号。（NE, AH, ME）
11. 19	ペルー	同国週刊誌「カレタス」、クーデター未遂事件の際フジモリ大統領の避難先は日本大使公邸であったと報道。（NE, YU, MN）
11. 20	チリ	エイルウィン大統領、記者会見で、環太平洋における協力推進の意向を示すとともに、プルトニウム運搬船あかつき丸の通過には憂慮を表明。（NK, YU, AH）
11. 20	バハマ	OECDの開発援助委員会（DAC）、同国を96年1月に被援助国の立場から“卒業”させることを決定。（NE）
11. 23	中 米	（-12.7）外務省と通産省、中米諸国から経済官庁中堅幹部を招いて「貿易・産業政策セミナー」開催。（NK, YU）
11. 24	メキシコ	メキシコ商工開発省のフェルナンド・エフティ外資担当官、メキシコ・日本商工会議所の昼食会で、北米自由貿易協定は日本企業にも適用されると表明。（NE）
11. 24	ペルー	政府、同国に126億9000万円の円借款を供与する書簡を交換。（NE,

		YE, ME)
11. 28	中 南 米	(-29) シンポジウム「新世界の500年-民族の出会いと融合」、上智大学で開催。(YE)
11. 30	メ キ シ コ	日産自動車、アグアスカリエンテスで新組み立て工場の完成式。サリナス大統領も出席。(NE, NS, MN)
12. 1	コスタリカ・ エルサルバドル	外務省人事。帰国令、小野純男コスタリカ兼エルサルバドル大使。(YU)
12. 1	ボ リ ビ ア	外務省人事。帰国令、池田浩ボリビア大使。(YU)
12. 2	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、11月積み対日直接取引(DD)価格の引下げを通知。新価格はイスムス原油が1バレル18.18ドル、マヤ原油が13.63ドル。さらに12月積みの調整金も引下げ。(NK)
12. 4	メ キ シ コ	ガルベス・メキシコ駐日大使、経団連の平岩会長に対し、北米自由貿易協定は経済ブロック化にはつながらないとする書簡を送付。(NK)
12. 9	アルゼンチン	来日中のカバロ経済相、日本輸出入銀行が同国に対し8億ドルを融資することで合意したと発表。(NK)
12. 17	ブ ラ ジ ル	外務省人事。帰国令、宇野和則ベレン総領事。(YU, MN)
12. 21	ボ リ ビ ア	政府、地滑りの被害を受けた同国に対し、1万ドルの見舞金の拠出を決定。(AH)
12. 24	メ キ シ コ	同国、日本の石油業界に対し、1月積み対日直接取引(DD)価格の調整金をイスムス原油については基準値プラス90セントに引上げ、マヤ原油についてはマイナス4.25ドルに引下げると通知。(NK)
12. 25	コ ロ ン ビ ア	東京税関と警視庁、コカイン約1キロ(末端価格約7100万円)を密輸入しようとした同国人を逮捕。(NK, YU, AH)
12. 28	ペ ル ー	リマの日本大使館前で爆弾テロ。(NK, YU, AH, MN)

(以上 208項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝 日	AH	AE
毎 日	MN	ME
読 売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1993年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 16(2)
Issue Date	1995-03-31
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9285
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌—1993年—

月日	国名	記事
1. 7	ブラジル	日米欧民間銀行団、昨年合意した債務削減策をめぐり再会合。計画通りの実施で合意。(NK, NE)
1. 11	中南米	中南米諸国の経済改革支援のための多数国間投資基金(MIF)発足。日本(5億ドル拠出)を含む21か国が出資。(NE, NK)
1. 11	メキシコ	日産自動車とアツギユニシア、同国で部品の共同生産に乗り出すと発表。(NE, NS, AH, MN)
1. 12	コロンビア	東京税関成田支署と千葉県警、コカイン約7キロ(末端価格約4億9000万円相当)を持ち込もうとした自称コロンビア人を逮捕。押収量は同空港開港以来最大。(NE, YU)
1. 19	ボリビア	外務省人事。加藤静也在マナオス総領事を、駐ボリビア大使に起用。(NE)
1. 19	エルサルバドル	外務省人事。石原重孝在ブリスベーン総領事を、駐エルサルバドル大使に起用。13年ぶりのエルサルバドル大使。(NE, MN)
1. 26	メキシコ	同国、対日DD(直接取引)原油の2月積み調整金の引下げを通告。イスムス原油が85セント、マヤ原油がマイナス4.65ドル。(NK)
1. 27	ブラジル	日本ビクター、同国グラディエンテエレクトロニカ社とVTR供給契約を締結したと発表。(NK, NS, AH)
1. 29	ブラジル	日本と同国、債務支払いの繰り延べで合意。85年2月以来4度目。(MN)
1. 29	パラグアイ	警視庁と大崎署、違法にパラグアイ人120人の職業紹介を行っていた会社社長らを逮捕。(NE, YE, ME)
2. 2	ブラジル	日本電気(NEC)、同国通信機器メーカーと共同出資でパソコン生産会社を設立し、販売を始めたと発表。(AH)
2. 8	メキシコ	第42回別府大分毎日マラソンで同国のカスティージョが優勝。(YU, MN)
2. 8	アルゼンチン	タンゴのファン・ダリエソ楽団、同日より全国公演。(YE)
2. 8	コロンビア	ガビリア大統領、池田創価学会名誉会長と会談。(MN)
2. 9	アルゼンチン	同国政府と日本輸出入銀行、民間債務削減を目的とした8億ドルの

		融資に調印。(AH)
2. 9	ボリビア	外務省人事。免、池田浩ボリビア大使。(YE, AE)
2. 10	ドミニカ	政府、同国の公的債務約123億円の返済を繰り延べることで合意し、書簡を交換。(YU)
2. 12	ドミニカ	外務省人事。石垣泰司駐サンパウロ総領事を、駐ドミニカ大使に起用。(NE, ME)
2. 12	パラグアイ	外務省人事。小野純男駐コスタリカ大使を、駐パラグアイ大使に起用。(NE, ME)
2. 13	ブラジル	政府、アマゾン川の水銀汚染に関して同国への専門家派遣の方針を固める。(ME)
2. 16	アルゼンチン	創価学会の池田名誉会長、メネム大統領と会見。(YE)
2. 17	アルゼンチン	日本輸出入銀行、同国に対する8億ドル相当の円のアンタイドローン供与を発表。(NK)
2. 23	アルゼンチン	同国と日米欧銀行団、同国民間向けの債務の削減が4月7日に完了すると発表。(NE)
2. 25	エルサルバドル	外務省、同国の経済復興支援のために総額約100億円の円借款を供与すると発表。3月19日に書簡を交換。(YU, MN)
2. 26	メキシコ	同国、対日DD(直接取引)原油の3月積み調整金の引下げを通告。イスムス原油が75セント、マヤ原油がマイナス4.60ドル。(NK)
3. 1	ブラジル	外務省人事。田中克之在トロント総領事を、在サンパウロ総領事に起用。(YU, MN)
3. 3	ブラジル	ジョルジェ環境長官、アマゾンの熱帯雨林保護のため日米欧先進7カ国から2億7000万ドルの資金援助を受けることになったと発表。(AH, MN)
3. 4	ペルー	日米両国、同国に対する協調融資実施を決定。(NK, NE, MN)
3. 10	ケイマン諸島	東京銀行、同島の子会社で総額500億円のユーロ円建て永久劣後債を発行すると発表。(NK)
3. 12	ブラジル	政府、同国への約990億円の環境分野の円借款を決め、外交文書を交換。(AH, MN)
3. 15	中米	(-16) 外務省で中米支援民主開発パートナーシップ(PDD)特別会合開催。渡辺外相、同地域へのODA拡充を表明。(NK, NE, YU, YE, AE, MN)
3. 15	中米	PDDの中米7カ国代表、宮沢首相を表敬訪問、日本の対中米投資増進への期待を表明。(AH, MN)
3. 16	ブラジル	レゼンデ蔵相、日米欧民間銀行団のほぼ全てが同国政府提案の長中

		期債務削減案枠組みに同意を伝えてきたと発表。(AH)
3. 22	メキシコ	同国、対日DD(直接取引)原油の4月積み調整金の変更を通告。イスマス原油が70セント、マヤ原油がマイナス4.45ドル。(NK)
3. 25	ベネズエラ	三菱商事、英ロイヤル・ダッチ・シェル、米エクソンとともに、ベネズエラ国営エネルギー会社との天然ガス合弁生産の基本契約に調印。(NE)
4. 1	ブラジル	外務省人事。渡辺俊夫ベルギー兼ルクセンブルグ公使を、ブラジル公使に任命。(YU, MN)
4. 2	ペルー	政府、同国の対日公的債務約1395億円の返済繰り延べの実施を決め、書簡を交換。(YU, ME)
4. 7	アルゼンチン	邦銀各行、同国向け貸出債権を、同国政府発行の債券(プレイディ債)に転換。(NK)
4. 7	メキシコ	不破共産党委員長、国家再建カルデニスタ戦線党のホルヘ・アマドール書記長と会見。(YU)
4. 9	コスタリカ	外務省人事。秋本健志郎フランス公使を、駐コスタリカ大使に起用。(YE, MN)
4. 13	メキシコ	外務省人事。堂之脇光朗前軍縮会議政府代表部大使を、駐メキシコ大使に起用。(NK, YE, ME)
4. 14	南米	国際電信電話(KDD)など3社、ブラジル-アルゼンチン-ウルグアイを結ぶ光海底ケーブル回線を取得すると発表。(NK, NS)
4. 20	コロンビア	来日中のサントス通商大臣、94年に同国で開催される環太平洋五輪への日本の参加を呼びかける。(YE)
4. 26	メキシコ	同国、対日DD(直接取引)原油の5月積み調整金の据置きを通告。(NK)
4. 27	ペルー	(-13) 東京大学古代アンデス文明調査団の発掘成果を紹介する「クントゥル・ワシ遺跡発掘展」東京・丸ノ内で開催。(YE, ME)
4. 29	メキシコ・ ベネズエラ	武藤外相、8日間の日程で両国訪問。(NK, YU, MN)
4. 29	中南米	春の受勲で、古川欣一元エクアドル日本人会会長ら在外邦人、フェルナンド・セルパ・フローレス元コロンビア厚生次官ら在日外国人が受章。(NK, YU, MN)
4. 30	ベネズエラ	ペレス大統領、武藤外相との会談で、日本の国連安保理常任理事国入り支援を明言。(NE, YE, ME)
5. 3	メキシコ	訪墨中の武藤外相、ソラーナ外相と会談し「北太平洋経済フォーラム」の設置を検討することで合意。4日サリナス大統領と会談。

		(YU, MN)
5. 5	ペ ル ー	日米欧等で構成する債権国会議（パリ・クラブ）、同国の対外公的債務約80億ドルのうち20億ドル弱を繰り延べることで合意。(NE)
5. 6	メ キ シ コ	住友商事、同国に日米向け薄鋼加工センターを設立し10月から操業開始すると発表。(YU)
5. 6	ブ ラ ジ ル	日本から同国へ向けた航空郵便180通が2月から3月にかけてバリグ・ブラジル航空で輸送途中に紛失していたことが判明。(YU, MN)
5. 9	南 米	群馬県太田市で、南米諸国からの出稼ぎ労働者のサッカー大会開催。(MN)
5. 11	ブ ラ ジ ル	ビジネス雑誌「エザーメ」、同国政府が近く日本で働くブラジル日系人のデータベースを設立すると報じる。(NE)
5. 13	ブ ラ ジ ル	森通産大臣、来日中のカルドーゾ外相との会談で同国向けの貿易保険引き受け再開を表明。(NK, YU)
5. 14	ブ ラ ジ ル	カルドーゾ外相、武藤外相との会談で日本の国連安保理常任理事国入り支持を表明。(NK, YU, AH)
5. 14	ブ ラ ジ ル	外務省人事。須山章リオデジャネイロ領事を、ベレン総領事に任命。(MN)
5. 14	中 南 米	中南米の環境保護団体、駐メキシコ日本大使に捕鯨反対の申し入れ書を提出。(AE)
5. 17	南 米	武藤外相、ディ・テラ・アルゼンチン外相、カルドーゾ・ブラジル外相、シルバ・チリ外相による初の「日本・リオ・グループ・トロイカ外相会合」東京で開催。(NK, YU, AH, MN)
5. 18	カリブ地域	外務省人事。石垣泰司氏をドミニカ兼ジャマイカ、バハマ大使に起用。(YE, ME)
5. 18	コロンビア	警視庁と大阪府警、コカイン密輸グループを摘発、容疑者10人を逮捕しコカイン3.95キロ（末端価格約2億7700万円）を押収。(NK)
5. 21	エクアドル	外務省人事。免、板橋毅一エクアドル大使。(YE, ME)
5. 22	メキシコ	同国、対日DD（直接取引）原油の6月積み調整金の据置きを通告。(NK)
5. 25	ブラジル	新日本製鉄、日伯合弁のウジミナス製鉄所との間で、第4次技術援助協定を締結。(NK, AH)
5. 27	キューバ	ジャズピアニストのG・ルバルカバ、同日を皮切りに東京、大阪で公演。(AE, YE)
5. 30	ペ ル ー	(-6.7) フジモリ大統領来日。武藤外相、同大統領との会談で新たに約5000万ドルの経済援助を表明。(NK, YU, AH, MN)

5. 31	ペ ル ー	森通産相、フジモリ大統領に対し、同国向け貿易保険引き受け再開を表明。フジモリ大統領、同日の林蔵相との会談で日本の一段の支援に期待を表明。(NK, NE)
6. 1	ペ ル ー	フジモリ大統領、天皇陛下と会見。(NE, YU)
6. 1	ペ ル ー	フジモリ大統領、宮沢首相と会談し一層の日本の協力を要請。宮沢首相は同国の民主化への期待を表明。(YU, NK, AH)
6. 1	メ キ シ コ	日本輸出入銀行、メキシコ産業金融公社とメキシコ外国貿易銀行に対し、総額1億ドル相当の円借款を決め、貸付契約に調印。(NK)
6. 1	グ ア テ マ ラ	政府、セラノ大統領の非常事態措置発動を受け、人道的・緊急的援助を除いて新規の経済協力を実施しないことを決定。(AH, MN)
6. 1	中 南 米	次年度より高校用世界史教科書でコロンブス航海の目的地を「インド」ではなく「アジア」に統一することになったとの報道。(YU)
6. 4	チ リ	日本輸出入銀行と民間銀行5行、銅鉱山開発プロジェクトに対する総額2億ドルの協調融資実施を決め、同日調印。(NK)
6. 8	メキシコ・ ハイチ・ベリーズ	外務省人事。免、田中常雄メキシコ兼ハイチ、ベリーズ大使。(YU)
6. 8	ウ ル グ ア イ	外務省人事。免、馬淵晴之駐ウルグアイ大使。(YE, ME)
6. 11	グ ア テ マ ラ	政府、同国での新大統領の就任を受け、経済協力の全面再開を決定。(AH)
6. 15	ブ ラ ジ ル	外務省人事。宇川秀幸ジュネーブ国際機関政府代表部大使を、駐ブラジル大使に起用。(YE, NE)
6. 15	ウ ル グ ア イ	外務省人事。角田勝彦前駐ドミニカ共和国大使を駐ウルグアイ大使に起用。(YE, NE)
6. 16	中 南 米	外務省人事。荒船清彦駐ニカラグア大使を、中南米局長に内定。(YU)
6. 20	ペ ル ー	フジモリ大統領、同日発行のブラジル週刊誌「ページャ」との会見の中で、92年の反政府クーデターの際に日本大使邸に避難していたことを認める。(AH)
6. 22	メ キ シ コ	同国、対日DD(直接取引)原油の7月積み調整金の一部変更を通告。イスムス原油が70セント、マヤ原油がマイナス4.35ドル。(NK)
6. 22	ペ ル ー	日米欧と世界銀行など、ペルー支援国会合で、同国への4億ドル強の援助資金提供で合意。日本は1億ドル強を拠出する。(NE)
6. 26	チ リ	同国海軍の練習用帆船「エスメラルダ号」、東京湾に寄港。28、29日に一般公開。(NE)
6. 28	ペ ル ー	群馬県警と前橋東署、不法滞在の日系ペルー人にビザを偽造してい

		た貿易会社社長を逮捕。(YU)
6. 30	ペ ル ー	フジモリ大統領、大統領府で日本のマスコミと会見し、麻薬・テロ撲滅に全力を尽くすと語るとともに、同国への渡航自粛解除を要請。(NE)
7. 5	ブ ラ ジ ル	ブラジル丸紅、バルエリ市で日産車の輸入販売をする「ニッサン・ド・ブラジル」が1日より営業を開始したと発表。(AH)
7. 15	メ キ シ コ	同国政府、日本での円建て外債(サムライ債)発行の調印。(YU)
7. 21	カ リ ブ 地 域	(-22) 政府、同地域諸国との関係強化のための事務レベルの「日本・ジャマイカ協議」と「日本・カリブ協議」をジャマイカのキングストンで開催。(YU)
7. 22	中 南 米	(-25) 大物サルサ歌手の集まる「カリビアン・カーニバル」東京で開催。(YE)
7. 23	ペ ル ー	「レプブリカ」紙、同国中部のワラル市で、91年の国際協力事業団(JICA)技術者殺害で、新たな容疑者15人が逮捕されたと報道。(YE, NE)
7. 25	グ ア テ マ ラ	東京・豊洲でグアテマラ先住民族の自立を支援するチャリティーコンサート開催。(AH)
7. 27	中 南 米	オルケスタ・デ・ラ・ルスなどが出演する「ジャパン・サルサ・フェスティバル」東京で開催。(YE)
7. 27	ブ ラ ジ ル	外務省人事。免、村角泰駐ブラジル大使。(YE)
8. 1	中 南 米	外務省人事。永井慎也ペルー公使兼リマ総領事を、中南米局参事官に起用。(YU)
8. 3	ウルグアイ・ アルゼンチン	資生堂、94年4月をめどに両国で化粧品販売を開始すると発表。(NK, NS)
8. 3	ブ ラ ジ ル	日本がソマリアに送った救援物資が、サンパウロ市近郊の港で発見され税関当局に押収されていたことが判明。(NE)
8. 4	ペ ル ー	フジモリ大統領、日本新党細川代表の首相指名を前に祝福メッセージを発表。6日大統領府、細川首相の公式訪問を招請。(YE, NE, AE)
8. 5	メ キ シ コ	環境保護検察庁、トルカ市郊外のメキシコ日産自動車工場に対し、産業廃棄物投棄の疑いで操業の一時停止を命じたと発表。(YE, NE)
8. 7	メ キ シ コ	ガルベス駐日大使、経済企画庁調整局長の私的諮問機関であるアジア・太平洋地域経済貿易政策研究会の報告書「アジアからみた北米自由貿易協定(NAFTA)」に関して、読売新聞に反論を送付。(YU)
8. 8	グ ア テ マ ラ	アムネスティ・インターナショナル日本支部、同国の人権侵害に関

		する報告書を翻訳、出版。(NK)
8. 8	ブラジル	サンパウロ州営テレビ、Jリーグの試合を放映開始。(YU, YE)
8. 9	メキシコ	ブレーキ大手のナブコ、同国にブレーキ部品工場を建設し、94年6月からメキシコ日産に製品供給を始めると発表。(AH)
8. 10	ブラジル	(-13) 東京都とサンパウロ州との友好都市提携を記念する「ブラジリアン・サウンド・イン・トウキョウ」東京・渋谷で開催。(YE)
8. 12	ペルー	フジモリ大統領、国際協力事業団(JICA)技術者殺害事件で、反政府組織「センデロ・ルミノソ」のゲリラ9人を7月中旬に逮捕したと発表。(YE)
8. 18	キューバ	同国国立民族舞踊団、同日の東京公演を皮切りに全国巡演。(YE, AE)
8. 20	カリブ地域	外務省人事。免、江口暢トリニダッドトバゴ兼アンティグアバーブーダ、グレナダ、セントビンセント・グレナディーン、セントクリストファーネビス、セントルシア、ドミニカ国、バルバドス大使。(YU)
8. 20	ホンデュラス	外務省人事。免、宮崎孝ホンデュラス大使。(YU)
8. 20	ニカラグア	政府、同国の洪水被害に対する10万ドルの緊急援助実施を決定。(YU)
8. 20	ベネズエラ	羽田外相、同国での台風災害に対して20万ドルの緊急援助実施を閣議で報告。(YU)
8. 20	チリ	イースター島のモアイ像修復に92年より取り組んでいた大手クレーン・メーカーのタダノ、考古学者らの協力を得て祭壇を再建し、モアイ像2体を立ち上がらせることができたと発表。(AH)
8. 21	ペルー	日本との通商修好120周年を記念し、リマでペルー日系人協会主催の記念式典開催。(AH)
8. 25	アルゼンチン	政府、同国に対する約600億円の債務返済繰り延べを決め、書簡を交換。(NE)
8. 27	キューバ	外務省人事。高瀬秀一日本輸出入銀行監事を、駐キューバ大使に起用。(YE, NE)
8. 27	エクアドル	外務省人事。塙哲夫駐バルセロナ総領事を、駐エクアドル大使に起用。(YE, NE)
8. 27	トリニダッドトバゴ	外務省人事。鶴田剛在イスタンブール総領事を駐トリニダッドトバゴ大使に起用。(YE, NE)
8. 28	ブラジル	東京・浅草で「第13回浅草サンバカーニバル」開催。(YU)
8. 31	エクアドル	羽田副総理・外相、来日中のパレデス外相と会談、同国の民主化・

9. 4	チリ	経済改革への協力を表明し無償資金協力の交換公文に署名。パレデス外相は日本の国連安保理常任理事国入りへの支持を表明。(YU) 東京・池袋で「ラテンアメリカ・フォーラム'93」開催。チリ・クーデターから20年目の意味を討論。(AE)
9. 7	アルゼンチン	外務省人事。小宅庸夫駐イラン大使を、駐アルゼンチン大使に起用。(YE, NE, AE, ME)
9. 7	コロンビア	警視庁、池袋でコロンビア人の男を麻薬所持で逮捕しコカイン3385グラム(末端価格約2億4000万円)を押収。(AE)
9. 8	ペルー	同国と日米欧の民間銀行団、ニューヨークで累積債務問題の抜本的解決を目指す準備会合開催。80年代半ばに同国が元利返済を停止して以来初。(NK)
9. 9	キューバ	テレビ朝日が英国BBCと共同制作した「キューバ危機・30年目の真実」が米国のエミー賞を受賞。(YU)
9. 17	グアテマラ	「国際先住民年」の国連親善大使でノーベル平和賞受賞者のリゴベルタ・メンチュウ女史来日。20日細川首相と会談。21日北海道でアイヌ民族と交流。(YU, NK, AE, ME)
9. 23	ペルー	日系ペルー人と沖縄県出身者かならるバンドのディアマンテス、東京・日比谷でコンサートを開き、在日外国人労働者、日系人1000人を無料招待。(YE)
9. 24	パナマ	外務省、第2パナマ運河建設は不可能との日米パナマ3カ国の調査委員会報告を発表。(YU, NK, AH, MN)
9. 28	中南米	松下電器産業、海外本部の再編成で中南米本部の新設を決定。同地域への取組みを強化。(NK)
9. 28	ハイチ	羽田外相、ニューヨークでの中南米12国外相との朝食会で、同国に対する経済援助再開の意向を表明。(NE)
10. 2	チリ	同国政府、池田創価学会名誉会長に「チリ共和国功労大十字勲章」を授与。(YU)
10. 4	ベネズエラ	来日中のオチョア外相、羽田外相と会談し、日本の国連安保理常任理事国入りへの支持を表明。(YU, NK)
10. 4	ベネズエラ	帝国石油、ベネズエラ国営石油会社が国際入札に出していた休止油田の一鉱区を落札したと発表。(AH)
10. 4	ブラジル	特殊鉱メーカーのアセジッタ、製鉄技術向上のために川崎製鉄から5年間にわたり技術支援を受けると発表。(AH)
10. 5	ホンデュラス	外務省人事。浜野美智夫前日本道路公団参事を、駐ホンデュラス大使に起用。(NE, AE, ME)

10. 8	キューバ	同国スポーツ省が同国選手の日本球界でのプレーを条件付きで認めたことが明らかに。(YU, AH)
10. 8	カリブ地域	外務省人事。鶴田剛トリニダッドトバゴ大使を、兼アンティグアバーブダ、グレナダ、セントビンセント・グレナディーン、セントクリストファーネビス、セントルシア、ドミニカ国、バルバドス大使に任命。(YU)
10. 8	メキシコ	メキシコ音楽の祭典「ビバ・メキシコ'93」、同日に東京・中野で、31日に五反田で開催。(YU, YE)
10. 8	中南米	東京で国際シンポジウム「ラテン・アメリカの経済発展と人材開発における日本の役割」(海外技術者研修協会主催)開催。(AH)
10. 10	キューバ	日本野球連盟、94年からの同国選手受け入れを承認。(YU, AH)
10. 13	中南米	(-27) 東京の国際協力事業団(JICA)総合研修所で「麻薬犯罪取締セミナー」開催。19カ国の捜査担当官が参加。(ME)
10. 14	ブラジル	日伯毎日新聞、海外日系新聞協会が東京・日比谷で開催した第20回大会でキャンペーン賞を受賞。(AH)
10. 15	ブラジル	政府、日伯共同のセラード地方の農業開発協力事業に、民間資金を合わせて約89億4000万円の有償援助実施を決定。(YU)
10. 15	ハイチ	寺田外務省報道官、国連安保理の対ハイチ経済制裁への同調姿勢を表明。(MN)
10. 22	アルゼンチン	外務省人事。免、山本学駐アルゼンチン大使。(YE)
10. 22	ブラジル	(-12. 28) 東京・千駄ヶ谷で「ブラジル・アートの今日展」開催。(YE)
10. 22	メキシコ・ベリーズ	外務省人事。堂之脇光朗駐メキシコ大使を兼ベリーズ大使に任命。(YE, ME)
10. 25	メキシコ	同国、対日DD(直接取引)原油の11月積み調整金の一部変更を通告。イスムス原油が70セント。(NK)
10. 26	コロンビア	外務省人事。八木真幸駐チュニジア大使を、駐コロンビア大使に起用。(YE, ME)
10. 30	ブラジル	外務省人事。縫村義則駐ポルトガル大使館参事官を、在クリチバ総領事に起用。(YU, MN)
11. 4	エルサルバドル	細川首相、来日中のクリスティアニ大統領と会談、内戦後の道路整備資金として103億3200万円の円借款供与を表明。(AH, MN)
11. 7	キューバ	デルガード駐日キューバ大使、巨人の宮崎キャンプを訪問。(YU)
11. 10	コロンビア	警視庁と新宿署、同国人3人をコカイン所持(520グラム、末端価格3600万円相当)で逮捕。(YE, NE)

11. 16	ブラジル	大分県佐伯市の日本文理大付属高校、同国にサッカー高校を開校する現地法人と提携し、長期サッカー留学制度を導入すると発表。(YU, NK)
11. 22	中南米	(-23) 東京・五反田で「第5回ラテン・フェスティバル」開催。ラテンアメリカの子供のための「アムラン基金」発足記念。(YE)
11. 22	メキシコ	日本長期信用銀行、メキシコ外国貿易銀行と業務協力協定を結んだと発表。日本企業の同国進出支援が狙い。(NK)
11. 25	キューバ	同国スポーツ省、解禁が予想されていた野球選手の派遣を否定。26日デルガード駐日大使、現在検討中であると表明。(YU, AH)
11. 25	ペルー	細川首相、ハイメ・ヨシヤマ民主制憲議会議長と会談。(YU)
11. 26	メキシコ	両国政府の航空交渉で、メキシコ航空会社の関西国際空港乗り入れ認可で合意。(NK)
11. 30	ブラジル	同国と日米欧の民間銀行団、トロントで、累積債務を証券化して削減する合意文書に調印。(NE)
11. 30	アルゼンチン	(-3) メネム大統領来日。(YU, NK, AH, MN)
11. 30	アルゼンチン	日本輸出入銀行、日本企業の同国への直接投資・技術移転を促進するため、アルゼンチン投資貿易銀行と業務提携。(NK)
12. 2	アルゼンチン	細川首相、メネム大統領と会談、同国への環境改善のための81億5000万円の円借款供与方針を表明。メネム大統領、日本の国連安保理常任理事国入り支持を表明。(YU, NK, AH, MN)
12. 2	アルゼンチン	(-12. 22) 東京・六本木で「アルゼンチン現代美術展」開催。(YE)
12. 2	メキシコ	(-3) 民間レベルの「第20回日本メキシコ経済協議会」、モンテレイで開催。(AH)
12. 3	アルゼンチン	メネム大統領、天皇陛下と会見。(NE)
12. 3	アルゼンチン	政府、同国政府の求めで経済開発の問題点と処方箋を指摘した「大来レポート」の改訂版作りに無償援助で協力することをメネム大統領に伝達。(AH)
12. 16	ベネズエラ	日本輸出入銀行、東京銀行や在日外国銀行による同国向け協調融資に対して保証を提供すると発表。(NK)
12. 17	パナマ	トヨタ自動車、中南米・カリブ地域のアフターサービス強化のため、パナマ市に整備技術者養成施設を建設、同日開所式を開催。(AH)
12. 19	メキシコ	(-22) サリナス大統領来日。(YU, NK, AH, MN)
12. 20	メキシコ	日本国際協力機構(JAIDO)、同国アウトテック・メヒコ社と現地での金型製造と工業用センサー製造の合弁事業を始めることで合意したと発表。(NK)

12. 21	メキシコ	細川首相、サリナス大統領と会談し、北米自由貿易協定（NAFTA）成立とアジア・太平洋経済協力閣僚会議（APEC）へのメキシコ加盟を評価し、日墨新時代への期待を表明。大統領、同国金融市場の開放を表明。（YU, NK, MN）
12. 21	メキシコ	サリナス大統領、記者会見で、北米自由貿易協定（NAFTA）は地域主義ブロック経済を目指すものではないとして、日本企業の同国への投資拡大を要請。（AH, MN）
12. 21	グアテマラ	東京・世田谷の中学生が不要になった足踏みミシンを同国に寄贈。（YU）
12. 21	メキシコ	同国、対日DD（直接取引）原油の1月積み調整金の一部変更を通告。イスムス原油が65セント、マヤ原油がマイナス4.25ドル。（NK）
12. 21	ニカラグア	外務省人事。林安秀在バンクーバー総領事を、駐ニカラグア大使に起用。（AE, ME）
12. 22	メキシコ	トヨタ自動車、北米自由貿易協定（NAFTA）の成立を踏まえて、同国での自動車生産を検討していると表明。（NK）
12. 26	エルサルバドル	政府、94年3月の同国大統領選挙への選挙監視団派遣を表明。（YU）

(以上175項目)

以上の記事は日経テレコンおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
毎日	MN	ME
読売	YU	YE

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

Title	〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1994年—
Author(s)	
Journal	イベロアメリカ研究, 17(2)
Issue Date	1996-01-10
Type	紀要/Departmental Bulletin Paper
Text Version	出版者/Publisher
URL	http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9299
Rights	



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資料》

日本・ラテンアメリカ関係日誌－1994年－

月日	国名	記事
1. 3	南米	「世界遺産条約」（世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約）登録地を映像に収める計画の日本人チーム、3月までの予定でアルゼンチン、ボリビア、ブラジルを回る。(YU)
1. 12	ペルー	首都リマにあるペルー日本文化協会の事務所前で爆発。(YU)
1. 13	コロンビア	現地の報道によると、名古屋市在住の日本人男性が今月初旬カリ市内の妻の実家を訪問中に殺害。(NE, AE)
1. 14	ホンジュラス	政府、27日のレイナ新大統領就任式典に自民党の山下徳夫元官房長官を特派大使として派遣することを決定。(AE)
1. 18	メキシコ	日産自動車、北米自由貿易協定（NAFTA）をにらみ、生産の現地化を進める目的で、同国に部品センターを建設すると発表。(NK)
1. 21	コロンビア	富士通、伊藤忠商事、フジクラの3社は、メデジン市公社から電話局用デジタル交換機を受注。受注金額は約55億円。(NK)
1. 25	ベネズエラ	三菱商事はエクソン、シェルとの合弁事業として、同国で液化天然ガス（LNG）の開発・生産を行うと発表。(NK, NS, AH)
1. 26	アルゼンチン	グローリア&エドゥアルド・タンゴ舞踊団来日。4月20日まで日本各地で公演。(YE)
1. 28	エルサルバドル	政府、同国の大統領選挙および総選挙に国連平和維持活動（PKO）法に基づく選挙監視団の派遣を決定。(YE, NK, AH)
2. 4	メキシコ	両国政府の交換留学制度による日本人留学生OBらが「日墨交流会」を旗揚げ。今後、在日メキシコ人との交流の場づくりに努力する。(NK)
2. 7	ブラジル	Jリーグ・ヴェルディ川崎の三浦和良選手、「第二の故郷」サンパウロ州ジャウー市から名誉市民賞を授受。(AH)
2. 8	チリ	外務省人事。杉野明・英国特命全権公使をチリ大使に任命。(YE)
2. 9	メキシコ	メキシコ日産に樹脂部品を提供しているカンセイ、原料となる樹脂材を今後、同国および米国での調達に切り替える。日産自動車本社の呼び掛けに応じたもの。(NS)
2. 10	ブラジル	サッカー日本代表の新監督にブラジル代表元監督のファルカン氏の

		就任が決定。(AH)
2. 13	ブラジル	12日から始まったリオのカーニバルに日系移民史をテーマにしたチームが参加。(NK, AE)
2. 15	チリ	外務省人事。免、江藤之久チリ特命全権大使。(YE)
2. 18	コロンビア	警視庁と丸ノ内署、同国人をコカイン所持(614グラム、末端価格4300万円相当)で逮捕。(YE)
2. 22	コロンビア	日本輸出入銀行、メデジン市公社に対し、総額45億円を限度とした資金供与を実施すると発表。(NK)
2. 22	メキシコ	本田技研工業、同国での自動車生産にむけ、具体的な進出方法などを検討中と発表。実現すれば日本メーカーでは日産自動車に次ぎ2社目となる。(AH)
2. 25	チリ	政府、3月11日のフレイ新大統領就任式典に新党さきがけの田中秀征代議士を特使として派遣することを決定。(NE)
2. 25	エルサルバドル	政府、3月に同国で実施される選挙に際して、日本から選挙監視要員15人の派遣を決定。(NK)
2. 26	コロンビア	細川首相、来日中のガビリア大統領との会談で、同国への円借款を表明。(YU)
2. 28	ブラジル	第11回庭野平和賞にブラジルのカトリック指導者、パウロ・エヴァリスト・アーンズ枢機卿が決定。(YE)
3. 3	メキシコ	切削工具大手のOSG、1月31日付で同国の工具メーカー・エルメコール社を買収したと発表。(NS, NK)
3. 4	ペルー	同国国家警察、92年2月におきた日本大使館爆破事件に関与した容疑で極左武装ゲリラ「センドロ・ルミノソ」(輝く道)の幹部ら11人を逮捕したと発表。(YE)
3. 7	コロンビア・ペルー	警視庁と東京税関、同国人5人をコカイン所持(1.96キロ、末端価格1億3760万円相当)と出入国管理法違反で逮捕。(YU)
3. 8	メキシコ	丸紅と宇部興産、自動車メーカー向けプラスチック会社「ATCメキシカーナ」(資本金1億7000万円)を設立したと発表。(YU)
3. 8	ブラジル	連邦警察、麻薬取締法違反で静岡県警から指名手配中の暴力団幹部を同国パラナ州ロンドリーナで逮捕。(YE, NE, AH)
3. 8	ホンジュラス	少数民族ガリフナの男女6人で構成される音楽・舞踏グループ「リタリラン」初来日。今月21日、東京・原宿で公演。(YE)
3. 12	中南米	(-19) 東祥三外務政務次官、アルゼンチン、ペルー、エルサルバドルを訪問。(YU)
3. 14	コロンビア	東京銀行、邦銀としては初めて同国と投資促進協定を締結。(NK)

3. 14	エクアドル	(-16) 東京・銀座で「エクアドルの自然展」開催。(NS)
3. 14	エクアドル	バジェン大統領夫妻、来日。15日には細川首相と会談。(NK)
3. 16	ブラジル	同国を始め、米国・カナダなどの製紙用パルプメーカーが対日価格を大幅に値上げしたと発表。(NK)
3. 18	コロンビア	和田淑弘マツダ社長、同国より「国家功労大十字勲章」受賞。(NS)
3. 19	コロンビア	神奈川県警と山手署、コカイン(500グラム、末端価格3500万円)の密輸・密売で同国人3人を逮捕。(YE)
3. 20	コロンビア	日本興業銀行は大手米銀2行とともに同国石油公社ペメックス向け協調融資11億ドルを決定したと発表。(NK)
3. 24	ブラジル	95年に修好100周年を迎える日本とブラジル両国の財界による「100周年記念事業組織委員会」が発足。(NS)
3. 25	アルゼンチン	トヨタ自動車、バス製造会社デカロリ社と合弁企業を設立。96年末よりトラック生産を行う。(NE, NS)
3. 25	ベネズエラ	NEC、三井物産、英STCの3社、同国の電話会社CANTVから光海底ケーブル(約65億円)を受注。(NS)
3. 25	コロンビア	警視庁、丸ノ内署および税務署、水差しの中に隠したコカイン(1.1キロ、末端価格約8000万円相当)を郵便小包で密輸した同国人男女3人を逮捕。(NK)
3. 26	ペルー	三井物産、同国で銅精練事業を行っている米国サザンペルーカッパー社に対して5000万ドルの融資を行う。通産省による「海外事業資金貸付保険」を適用。(NK, NS)
3. 28	メキシコ	日産自動車、95年から3年振りに同国への乗用車輸出を再開すると発表。(NS)
3. 28	ブラジル	邦銀、4月までに同国向け債券の証券化を終了すると発表。(NK)
3. 29	中南米	日本輸出入銀行、中米経済統合銀行とラテンアメリカ輸出銀行に対し、合計135億円の貸付契約に調印したと発表。(NK)
3. 30	メキシコ	日産自動車系部品メーカー・日本プラストが「ニホンプラスト・メヒカーナ」を設立。当面はメキシコ日産への部品供給を行う。(NK)
3. 31	メキシコ	日商岩井、4月に自動車用鋼板コイル工場を設立。メキシコ日産などへ供給する。(NS)
4. 4	中南米	「南米日系教育センター」(愛知県小牧市)が閉鎖。不況の影響から家族連れの帰国が増え、センターを利用する児童数が3人に減少したため。(NK)
4. 6	アルゼンチン	日露戦争の海戦を当時、巡洋艦「日進」上で観戦した同国の駐在武官による報告書が海上自衛隊に贈呈。(NK)

4. 6	メキシコ	経済企画庁が国内の企業635社（製造業・商社）に実施したアンケートによると、北米自由貿易協定（NAFTA）地域への投資に意欲的な企業は全体の16%にとどまった。（NK）
4. 9	メキシコ	千代田化工建設、同国石油公社ペメックスよりガソリン改質関連プラントを80億円で受注したと発表。（NS）
4. 11	コロンビア・エクアドル	同国沖合で、マグロ（2000トン、15億円）の密漁をした疑いにより、茨城県内の水産会社3社が横浜地検と水戸地検に書類送検。（YE）
4. 11	中南米	米州開発銀行が増資を決定。日本の出資比率は5%に拡大。（NE）
4. 12	メキシコ	日本輸出入銀行、同国産業金融公社（NAFIN）に対し2億ドル融資を決め、議定書に調印したと発表。（NK）
4. 12	メキシコ	インターコンチネンタルホテルズ（セゾングループ）、同国プレジデンテ社が保有する7つのホテルを系列化。メキシコ進出を果たす。（NK）
4. 13	ペルー	日本輸出入銀行、同国に対し総額2250万ドルを限度とする融資を行うと発表。米州開発銀行（IDB）との協調融資。（NK）
4. 15	ブラジル	日米欧民間銀行団、同国の対外民間債務490億ドルの返済繰延に合意したと発表。（YE, NK, AE）
4. 21	エルサルバドル	政府、同国の道路整備事業に対し、新たに103億3200万円の円借款供与を決定。現地で書簡を交換。（YE）
4. 23	メキシコ	同国第三位の航空会社タエサ（TAESA）、7月20日より日本への直行便（週一便）の就航を発表。メキシコ会社としては初めて。（YE）
4. 28	メキシコ	来日中のノヨラ商業工業開発省次官、北米自由貿易協定（NAFTA）発効を機に日本からの投資拡大を期待すると述べ、特に自動車・エレクトロニクス分野への進出を促す。（NS）
4. 29	中南米	春の叙勲で、笠松ヒサ元アスンシオン日本人会婦人部長を始めとする在外・帰化邦人、およびファン・シマブクロ・ヤマシロ・ワチョ日系人協会会長ら外国人が受賞。（YU）
5. 1	中南米	東京で3つのレゲエ・フェスティバルがスタートする。「スーパーバッシュ」（1日）、「サンスプラッシュ」（11～12日）、「ホット・ジャム」（14～15, 17～18日）。（YE, AE）
5. 9	メキシコ	警察庁、同国政府の要請で、今月下旬から約2週間にわたって日本の治安対策に関するセミナーを開催する。（NE）
5. 9	メキシコ	本田技研工業、乗用車の生産を95年から開始すると現地で発表。（NK, YE, AE）

5. 10	エクアドル	政府、ガラパゴス諸島の火災から自然遺産を守るため、同国の要請に基づき、5万ドルの緊急災害援助を決定。(YE)
5. 10	ニカラグア	外務省人事。免、林安秀ニカラグア特命全権大使。(YE)
5. 11	ブラジル	三菱重工業、コスト削減のため、同国ウジミナス製鉄所から造船用厚板の輸入を決定したと発表。(NK)
5. 12	アルゼンチン	政府、サッカー・キリンカップ出場のため、来日を予定していた同国マラドーナ選手に対し、ビザを発給しないことを決定。同選手が過去に麻薬関連の逮捕歴をもつため。これを不服としてアルゼンチンチームは出場不参加を日本側に伝えた。(AH)
5. 13	アルゼンチン	日本大使館内で催涙ガス弾状の容器が破裂。マラドーナ選手が日本入国を拒否されたことに対する嫌がらせの犯行との見方。(YU, NK, AH)
5. 13	コロンビア	日本輸出入銀行、同国工業開発公社（I F I）に総額30億円の融資契約に調印したと発表。(NK)
5. 19	ブラジル	在ベレン総領事館領事、福沢磨智子氏、自宅アパートで殺害。(YE, NK, AE)
5. 20	エルサルバドル	カルデロン大統領の就任式に社会党の山花貞夫前政治改革担当相を特使として派遣することを閣議で決定。(NE)
5. 26	ブラジル	トヨタ自動車、品質向上の目的のため、同国で生産される小型トラックのエンジンを日本からの輸入に切り替えると発表。(NK)
5. 26	メキシコ	国際捕鯨委員会メキシコ総会、チリなどが提案した南極海での捕鯨を全面的に禁止する聖域案が可決。日本の商業捕鯨の再開は絶望的。(NK)
5. 28	中南米	(-7. 8) 「イベロアメリカ・シネマフェスタ'94」開催(於：東京、大森キネカ)。(YE)
5. 30	エクアドル	政府、ガラパゴス諸島でおきた山火事の被害状況や自然への影響を調査するため6月3日より3週間、専門調査団を派遣すると発表。(NK)
6. 2	メキシコ	日本電装、クライスラー社など米自動車大手3社からの要請を受け、同国で自動車部品工場の建設を検討中と発表。(NK)
6. 3	メキシコ	村田製作所の現地法人ムラタ・エレクトロニクス・メヒカーナがI S O 9002 (品質保証の国際規格) を取得。(NS)
6. 3	パナマ	ビクター、同国に現地法人「J V C ラテンアメリカ S. A.」を設立。(NS)
6. 6	ペルー	羽田首相、来日中のフジモリ大統領との夕食会で、協力拡大にむけ

6. 6	エクアドル	調査団派遣やペルー若手指導者の日本招待計画などを表明 (YU, NK) 日米欧民間銀行と同国、年内に債務証券化を完了することで合意したと発表。(NK)
6. 6	ペルー	(-30) 美術展「文明の創造力 古代アンデスの造形芸術」が東京大学総合研究資料館で開催。(AH)
6. 8	ペルー	慶応義塾大学、フジモリ大統領に名誉博士号を授与。(NK)
6. 10	中南米	社会福祉法人「日本保育協会」、中南米諸国を含む外国籍園児が1万人を越えたとの調査結果を発表。(NK)
6. 10	チリ	奈良国立文化財研究所所員と同国の考古学者によるモアイ像(チリ領イースター島)の修復がほぼ完了したと発表。(NK, AH)
6. 15	ブラジル	常電導型リニアモーターカー開発会社H S S T、「新交通システム」導入を計画中のリオデジャネイロ市と共同で企業化調査を行う旨合意。(NK)
6. 20	キューバ	日本・キューバ親善野球試合の第1戦。キューバが4-2で中日ドラゴンズ(二軍)に逆転勝ち。(AH)
6. 22	ブラジル	羽田首相、Jリーグ鹿島アントラーズのジーコ選手を総理大臣顕彰することに決定。(YU, NK)
6. 23	ジャマイカ	立教大学ラテンアメリカ研究所30周年記念特別セミナーで作家の栗山章氏が講演「ジャマイカが問いかけるもの」。(YE)
6. 24	コスタリカ・エクアドル	NEC、両国より通信衛星「インテルサット」用の衛星地上局を受注。(NS)
6. 28	メキシコ	日産自動車、メキシコ製の小型自動車「サニー」を中南米向けに輸出することを発表。(YU)
6. 28	中南米	トヨタ自動車、アジアに続き、域内でも完成車と部品の相互供給体制を整備すると発表。(NK)
7. 2	キューバ	日本・キューバ親善野球試合最終戦、17-4でキューバが圧勝。同国の5勝2敗1引分けで全日程が終了。(AH)
7. 4	メキシコ	日産自動車、同国および米国で現地生産されている自動車を相互供給することを決定。(NK)
7. 9	ブラジル	NEC、サンパウロ州電話会社(TELESP)から移動電話システム(交換機など)総額150億円を受注したと発表。(NK)
7. 11	ブラジル	日本ブラジル修好100周年記念事業組織委員会、95年に実施が予定される記念事業の概算は5億円と発表。(NS, AH)
7. 11	エクアドル	東京都港区で廃校となった小学校から机と椅子350組が同国に贈呈。港区区長からアピラ駐日大使に目録が手渡される。(YU)

7. 12	エクアドル	サルサ・グループ「コラル・イ・エスメラルダ」初来日。全国公演を開始。(YE)
7. 15	メキシコ	バルブ専業最大手のキッツと日商岩井、共同で鋳鋼バルブ生産を行うため、年内にも現地法人を設立すると発表。(NK)
7. 15	中南米	(-8.28) 慶応義塾大学医学部国際医学研究会、医師、学生ら5人を派遣。ブラジル、メキシコ、エクアドル3か国で民間医療や医療活動の実態を視察。(YE)
7. 19	ニカラグア	河野外相、リアル外相との会談で、同国の経済復興計画に対して年内に約3000万ドルの円借款を検討中と表明。(NK)
7. 22	ベネズエラ	同国出身の大物サルサ歌手オスカル・デ・レオン来日。東京で公演。23日には日本人のサルサバンドと共演。(AE)
7. 26	ブラジル	石川島ブラジル造船所(インプラス)と現地企業エマッキ・ウェロルメ、9月末合併について合意したと発表。(NK)
7. 26	メキシコ	同国家電メーカー・マーベ社と三洋電機、冷蔵庫用コンプレッサの製造販売の合弁会社「マーベ三洋コンプレッサ」を設立。 (NE, NS, AH)
7. 27	メキシコ	ティファナ市内で邦人ビジネスマンが交通事故。1人が死亡、3人が負傷。(NE)
7. 29	中南米	あさひ銀行、対中南米輸出を行う米国の日系企業を対象に輸出金融を開発。米輸銀の輸出保険プログラムによって投融資の回収リスクを軽減する。(NK)
7. 30	メキシコ	同日までに、東京銀行と富士銀行がメキシコ大蔵省に対し、現地法人設立の申請。同国金融市場の開放に伴う措置。(YE, NK)
8. 2	メキシコ	松下電器産業、95年4月をメドに、北米でのテレビ生産をメキシコに集約すると発表。(NK)
8. 3	コロンビア	警視庁と千住署、コカイン(1キロ、末端価格約7000万円相当)所持で同国人女性2人を逮捕。(YE)
8. 6	メキシコ	住友電工の子会社コンテック社(自動車用ワイヤハーネスを生産)生産を一部開始。95年にはフル稼働の予定。(NK)
8. 16	メキシコ	米国・メキシコの労働4団体、ソニーのメキシコ工場で不当労働行為があったと米労働省に不服申し立て。同社が労働組合選挙に介入したとの主張。米労働省は60日以内に申し立て受理について決定。 (NK)
8. 18	メキシコ	東芝、95年夏をメドに北米市場むけのシャシー(カラーテレビ用部品基板)生産を全面的にメキシコ工場に移行すると発表。(NK)

8. 18	ベネズエラ	カリブ海音楽のリーダー的存在の「コスタ・カリベ」が弦楽集団「アンサンブル・グルフィーオ」と共に3年振りの来日。ジョイントコンサートを開催。(YE)
8. 18	エルサルバドル	政府、同国の国道整備計画に対し、5億3200万ドルを限度とする無償資金協力の実施を決定。(YU)
8. 20	ブラジル	同国鉄鋼大手コジッパ社、11-12月積みの厚鋼板の対日価格値上げを発表。ウジミナス社に続く値上げ。(NK)
8. 20	ジャマイカ	レゲエ界の殿堂ボブ・マーリー生誕50周年を記念した「ボブ・マーリーフェスティバル」が東京を皮切りにスタート。来年2月まで世界各地で公演。(NE)
8. 23	パナマ	政府、9月1日のパジャダレス新大統領就任式に特使として自民党の原田昇右元建設相の派遣を決定。(NE)
8. 24	ブラジル	大阪労働基準局、日系ブラジル人労働者を斡旋し、不当な報酬を受けていた会社社長ら2人を労働基準法違反の容疑で書類送検。(YU)
8. 27	ブラジル	東京台東区で「浅草サンバカーニバル」開催。(YU)
8. 28	ブラジル・アルゼンチン	(-12) 河野外相、エジプト、米国を含め4か国訪問(16日間)に出発。(YU, NK, AH)
8. 31	ブラジル	30日にブラジル入りした河野外相、フランコ大統領らと会談。92年以降停止していた日本輸出入銀行の融資再開など経済協力を拡大する考えを表明。(YU, NE)
8. 31	中南米	チリ、エクアドル、ブラジル3か国外相、河野外相との会談(於:ブラジル外務省)の席上、日本の常任理事国入りを支持する考えを揃って表明。(YE, NE)
9. 1	パナマ	外務省人事。命婦国、杉山洋二パナマ大使。(YU)
9. 1	ブラジル	日本ブラジル修好通商条約締結100周年を記念して、95年にサッカーのブラジル代表の来日が決定。(YE, NE)
9. 2	アルゼンチン	同国を訪問中の河野外相、レコンキスタ川流域環境改善計画に対する円借款(総額81億5000万円)供与のための書簡に署名。翌3日にはメネム大統領と会談。日本の常任理事国入りや核不拡散問題などについて意見を交換。(YE)
9. 5	メキシコ	ケンウッド、同国に車載用音響機器の子会社を設立したと発表。(NK, NS)
9. 5	ペルー	(-7) 「日本・ペルービジネス協議会」開催。(NE)
9. 6	ニカラグア・グアテマラ	外務省人事。宮本吉範文部省官房審議官をニカラグア大使に、木谷

		隆経済協力開発機構（OECD）政府代表部公使をグアテマラ大使にそれぞれ起用。（YE）
9. 6	ブラジル	日本重化学工業、同国のフェロバサおよび丸紅と合弁会社を設立。フェロシリコン（合金鉄）生産に乗り出す。（NS）
9. 7	アルゼンチン	同国の若手トップダンサーによるショー「タンゴ・ポル・ドス」初来日。埼玉県和光市を皮切りに全国巡演。（YE）
9. 10	南米	法務省がまとめた93年末の外国人登録者数は132万人で過去最高。南米出身者の比率が増加。（NK）
9. 13	ペルー	（-11.27）「黄金の都シカン発掘展」、東京・上野で開催。（AE）
9. 20	ボリビア	来日中のアラニバル外相、河野外相と会談。日本の国連安保理常任理事国入りを支持。（YU）
9. 26	ブラジル	アルミナ生産の合弁プロジェクト「アルノルテ」、95年9月に操業開始と発表。年間100万トンの生産予定。（NS）
9. 27	中南米	警視庁公安部、日系南米人専門の人材派遣業社の経営者ら2人、労働者派遣業法違反の容疑で逮捕。（YE）
9. 30	ブラジル	外務省人事。大川忠治ポルトアレグレ総領事、退職。（YU）
9. 30	コスタリカ	電源開発、同国の発電所建設に関する企業化調査に協力することで国際協力事業団（JICA）と合意したと発表。JICA側が資金を負担し、電源開発が発電所建設の経済性・環境影響などを分析する。（NS）
10. 1	ベネズエラ	外務省人事。命婦国、坂本重太郎ベネズエラ大使兼ガイアナ、スリナム大使。（YU）
10. 6	中南米	政府、中南米諸国の環境対策に協力するため、95年度にメキシコとチリに総額6億円の融資を実施すると発表。機器の供与および専門家の育成にあてる。（NK）
10. 12	ブラジル	日系紙「サンパウロ新聞」の報道によると、3日に行われた総選挙の結果、下院の日系議員数が前回選挙時の8議席から5議席に減少（YE）
10. 12	チリ	住友金属鉱山と住友商事が資本参加したラ・カンデラリア銅鉱山が操業開始。（NS）
10. 12	メキシコ	日産自動車、95年度から中南米での営業をメキシコの同社に一本化すると発表。（NK, NS, AH）
10. 14	ハイチ	国際機関に対する同国の債務（総額7800万ドル）を日米10か国が肩代わりすることで概ね合意したと発表。（YE, AE）
10. 14	ブラジル	国際俳句交流協会の第一回国際俳句コンテストで、同国在住の吉野

		青嵐氏が最高の外務大臣賞を受賞。(AE)
10. 15	ペ ル ー	外務省人事。命婦国、西崎信郎ペルー大使。(YU)
10. 17	メ キ シ コ	久米豊日産自動車会長、同国政府より「アギラ・アステカ勲章」受賞。(NS)
10. 18	チ リ	日本水産、同国の200カイリ以内での南ダラ(すり身原料)の漁業権を現地法人を通して取得。(NK)
10. 23	ペ ル ー	同国の最高軍事法廷、91年7月におきた国際協力事業団(JICA)派遣の日本人農業専門家3人の殺害を指揮した3被告に終身刑を言い渡す。(YU, NK)
10. 24	ボ リ ビ ア	日系ボリビア人を中心とする南米国籍の男女200人余、神戸市内のマンションに架空の転居手続きをしていたことが発覚。大阪入国監理局は外国人登録法違反の疑いもあるとして調査を開始。(AE)
10. 24	メ キ シ コ	住友化学工業、米国の子会社を通して同国に農薬販売の現地法人を設立。ブラジル・アルゼンチンなどにも進出を検討中。(NS)
10. 25	ベ ネ ズ エ ラ	外務省人事。阿曾村邦昭前チェコ大使を在ベネズエラ大使に起用。(NE, AE)
10. 26	ブ ラ ジ ル	92年10月設立以来活動していなかった「日伯雇用サービスセンター」(サンパウロ市)が11月から正式にスタートすることが決定。日系ブラジル人に対し日本側の求人情報を提供する。(AH)
10. 27	ブ ラ ジ ル	政府、日本とブラジル合併による「アマゾン・アルミ」プロジェクトの経営立て直しのため、両国が事業主体であるアルプラス社を支援することが決定。(YU, NK, NS, AH)
11. 1	ペルー・パナマ	外務省人事。青木盛久国際協力事業団理事を在ペルー大使に、甲斐紀武国際研修協力機構常務理事を在パナマ大使にそれぞれ起用。(YE, NE)
11. 2	ブ ラ ジ ル	同国鉄鋼大手のウジミナス社とCSN、1月積みの鋼板類の対日輸出価格の引上げを決定したと発表。(NK)
11. 4	メ キ シ コ	東京海上火災保険、日系損保企業として初めて年内に同国へ進出すると発表。(NK, NS)
11. 10	メ キ シ コ	松下電池工業、同国で電池の生産子会社を設立したと発表。(NK, NS)
11. 10	アルゼンチン	日本輸出入銀行、日本興業銀行および民間金融機関3社、同国に対して米州開発銀行(IDB)との協調融資(6億ドル)を決め、契約に調印。(NK)
11. 11	ハ イ チ	政府、難民の本国への帰還を支援するために、総額109万ドルの人

11. 12	ペ ル ー	道援助を実施することを決定。(YU, NK, AH) 丸紅、カナダ・コミンコ社と共同で国営ミネロペルー社所有のカハマルキジャ亜鉛製錬所を落札。ペルーの民営化案件に日本企業として初参加となる。(NK)
11. 14	ブ ラ ジ ル	ブラジリアン・ポップスの第一人者、セルジオ・メンデスがバンド「ブラジル'99」とともに日本ツアーを開始。(YE)
11. 14	ブ ラ ジ ル	種苗会社サカタのタネがブラジルの大手種苗会社「アグロフローラ植林・農牧」の株式の94%を買収。(YU, NK, NS)
11. 15	トリニダード・トバゴ	同国出身でノーベル文学賞(92年)詩人デレク・ウォルコット氏、東京で開催された「ノーベル賞受賞者を囲む『フォーラム21世紀への創造』」(読売新聞社・NHK主催)で講演。(YU)
11. 18	チ リ	村山首相、来日中のフレイ大統領と会談。(YE)
11. 18	ペルー・ボリビア	兵庫県警と葦合署、日系南米人の在留ビザ(在留期間更新許可)取得における架空転居の申請容疑で、日本人ブローカー1人と日系ボリビア人3人を逮捕。(YE)
11. 20	ペ ル ー	(-24)中曽根元首相、「第3回アジア太平洋議員フォーラム」執行委員会に出席するため同国を訪問。(YU, AH)
11. 21	チ リ	NTT、同国のB-I S D N(広帯域総合デジタル通信網)計画「アクセス・ノバ・プロジェクト」に研究面で協力すると発表。(NS)
11. 22	エルサルバドル	三菱銀行、同国航空会社大手T A C A社に対する航空機ファイナンスに調印。日欧の銀行・投資家が主な資金調達先に。(NK)
11. 22	ブ ラ ジ ル	バリグブラジル航空日本支社の従業員6人が、今秋の解雇を不当として東京地裁に地位保全の仮処分を申請。(NK, AH)
11. 25	南 米	法務省の独自調査の結果、兵庫県内に25人以上の南米人が集中的に外国人登録している住居地10か所のうち2か所が架空転居地であることが判明。(YU)
11. 27	パラグアイ	ワスモン大統領来日。30日までの滞在中、村山首相との会談ならびに天皇陛下との会見に臨む。(YU, AH)
11. 28	メ キ シ コ	日本電装、96年6月から自動車メーターの現地生産を開始すると発表。(NK, NS)
11. 28	ブ ラ ジ ル	川崎製鉄、同国ツバロン製鉄所から炉体冷却装置を受注。(NS)
11. 29	トリニダード・トバゴ	千代田化工建設、同国で建設予定の天然ガスプラント基本設計業務を受注したと発表。米社と共同で設計業務を行う予定。(NK, NS)
11. 29	ペ ル ー	政府、同国に対する債務繰延べ(総額214億円)を決定。(YE)

11. 30	ブラジル	(-12.2) 環境庁国立水俣病研究センターとリオデジャネイロ大学による「アマゾン川流域における水銀による影響に関する国際ワークショップ」開催。(NS)
12. 14	ブラジル	アマゾン川でいかだ下り中に行方不明になった関西の大学生2人無事保護。(NK, NS, AH)
12. 14	ブラジル	日本重化学工業、提携先である同国の合鉄大手メーカー・フェロバサヤシルバサ(丸紅との合併)と技術者交流を開始と発表。(NS)
12. 14	パナマ	(-15) 同国政府と民間債権銀行団、ニューヨークで本格的な債務削減交渉を開始。(NK)
12. 16	ペルー	遅れていた同国政府と日米欧民間債権銀行団との債務削減交渉、95年1月から再開される見通しと発表。民間銀行団が債務返済請求権の時効防止を狙いに起こしていた訴訟を取り下げたため。(NK)
12. 21	メキシコ	日産自動車、95年5月より、同国および米国それぞれの国で現地生産している乗用車の相互供給を開始すると発表。(NK, NS)
12. 21	アルゼンチン	丸紅、営団地下鉄(丸ノ内線)中古車両133両を同国に輸出、来春までに納入する見込み。(NK)
12. 23	ブラジル	東芝、同国で95年度に生産されるカラーテレビは90万台(前年度比50%増)になる見込みと発表。中南米地域の需要増加および東欧諸国への輸出増加に対応する目的。(NS)
12. 26	ブラジル	自民党小淵恵三副総裁、95年1月1日に開かれるカルドーゾ元蔵相の大統領就任式に政府の特派大使として出席のため出発。(AH)
12. 28	ジャマイカ	外務省、95年1月1日付けで同国に大使館を開設することを発表。(YU)
12. 28	メキシコ	パイオニア、同国に車載用オーディオ機器の生産工場を新設すると発表。95年春をめどに建設着工の予定。(NK)
12. 30	ベネズエラ	丸紅および日鉄商事、同国の石油掘削事業に42億円を融資。(NK)
12. 31	メキシコ	日米欧主要先進諸国と国際通貨基金(IMF)、年明けにも通貨危機に陥った同国に対する支援策を発表。(NK)

(以上188項目)

以上の記事は日経テレコムおよび当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

新聞名	朝刊	夕刊
日本経済	NK	NE
日本産業	NS	
朝日	AH	AE
読売	YU	YE